

# 清須市 健康に関するアンケート調査

## 調査結果報告書

令和6年10月

清 須 市



## - 目次 -

I. 調査概要	1
調査の目的	1
調査対象及び調査方法	1
回収結果	1
報告書の見方	1
II. 調査結果	2
1 回答者の属性	2
1-1 性別	2
1-2 年齢	2
1-3 居住地区	3
1-4 職業	3
1-5 平均労働時間	4
1-6 家族構成	4
2 健康について	5
2-1 定期的な体重測定の有無	5
2-2 BMI	5
2-3 適正体重の認知度	6
2-4 主観的健康観	6
2-5 健康に関する悩みや不安	7
3 栄養・食生活について	8
3-1 朝食の摂取状況	8
3-2 野菜の意識的な摂取	9
3-3 主食・主菜・副菜をそろえた食事の摂取（1日2回以上）	9
3-4 食事について気をつけていること	10
3-5 適切な食事内容・量の認知度	11
3-6 栄養成分表示の活用	11
4 身体活動・運動について	12
4-1 身体を動かす心がけ	12
4-2 1日の平均歩数	12
4-3 運動習慣の実施状況	13
4-4 「ロコモティブシンドローム」の認知度	14
4-5 「フレイル」の認知度	14
5 休養・こころの健康について	15
5-1 健康のために睡眠や休養をとる必要性	15
5-2 1日の平均睡眠時間	15
5-3 睡眠の状況	16
5-4 睡眠による疲れの解消度	17
5-5 この1か月間のストレスの状況	17
5-6 ストレス解消方法の有無	20

5-7	こころの不調が続いた場合の医療機関などの利用の状況	20
5-8	不満や悩みなどを話せる人の有無	22
5-9	生きがいや楽しみ	23
5-10	市が行う心の健康相談窓口の認知度	23
6	たばこについて	24
6-1	喫煙状況	24
6-2	たばこが影響する病気の認知度	27
6-3	受動喫煙の機会の状況	28
6-4	家庭での分煙対策の状況	30
6-5	「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」の認知度	30
7	アルコールについて	31
7-1	「節度ある適度な飲酒」の認知度	31
7-2	飲酒の状況	32
7-3	「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」の認知度	33
8	歯と口腔の健康について	33
8-1	歯の本数	33
8-2	歯や口の中で気になること	34
8-3	歯の健康管理	35
8-4	「8020運動」の認知度	36
8-5	「オーラルフレイル」の認知度	36
9	生活習慣病の予防について	37
9-1	「生活習慣病」の認知度	37
9-2	健康的な生活習慣への改善意向	38
9-3	健診や人間ドックの受診状況	39
9-4	がん検診の受診状況	41
10	社会参加・社会環境について	42
10-1	ボランティア活動への参加状況	42
10-2	人との交流の程度	42
10-3	住んでいる地域について	43
11	自殺に関する意識や自殺対策への思いについて	44
11-1	年間自殺者数の認知度	44
11-2	自殺対策は自分自身にかかわる問題だと思うか	44
11-3	自殺を考えた経験について	45
11-4	自殺対策に関する事柄の認知度	48
11-5	今後重要だと思う自殺対策	49
12	行政の取り組み等について	50
12-1	健康に暮らすまちづくりのために行政が注力すべき取り組み	50
12-2	自由意見	51
13	中学生以下の子どもがいる保護者への質問	52
13-1	子どもの年齢	52
13-2	子どもは大人と一緒に食事をしているか	52
13-3	子どもの規則正しい生活習慣の心がけ	53
13-4	子どもの受動喫煙への配慮	53

13-5	子どもの飲酒防止への配慮 .....	54
13-6	自由意見 .....	55



# I. 調査概要

## 調査の目的

この調査は、市民の心身の健康に関する意識や生活習慣等を把握し、市民の健康の保持・増進を目指した「健康日本21 清須計画（第2次）」の最終評価及び第3次計画策定の基礎資料を得る目的で実施しました。

## 調査対象及び調査方法

調査対象者	市内在住の満20歳以上の男女
調査票配布数	2,000人
抽出方法	層化無作為抽出
調査期間	令和6年7月4日～令和6年7月22日
調査方法	郵送配布、郵送回収

## 回収結果

配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
2,000	682	682 (337)※	34.1%

※中学生以下の子どもがいる保護者の回答件数

## 報告書の見方

- ・ グラフ・表中の「n」はアンケートの有効回答数を示しています。
- ・ 比率はすべて百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答の場合、回答の合計比率が100.0%を超える場合があります。
- ・ 本文中で、回答率等の割合(%)については「高い」「低い」、件数等の実数については「多い」「少ない」の表現を使用しています。
- ・ グラフ・表として示したもののうち、回答数が0の場合は表示を省略しています。また、選択肢等の文字数が長い場合に表記を簡略化してある場合があります。
- ・ 本文中で、網掛けのある部分は、第2次計画の目標指標関連の数値であることを示しています。

## II. 調査結果

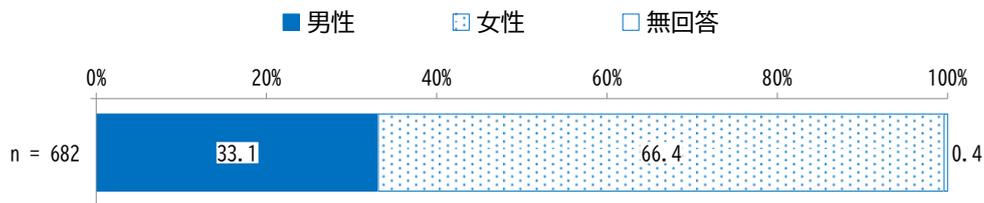
### 1 回答者の属性

#### 1-1 性別 .....

問1 性別はどちらですか。(〇は1つ)

▶ 「男性」が33.1%、「女性」が66.4%となっています。

図表 1-1 性別

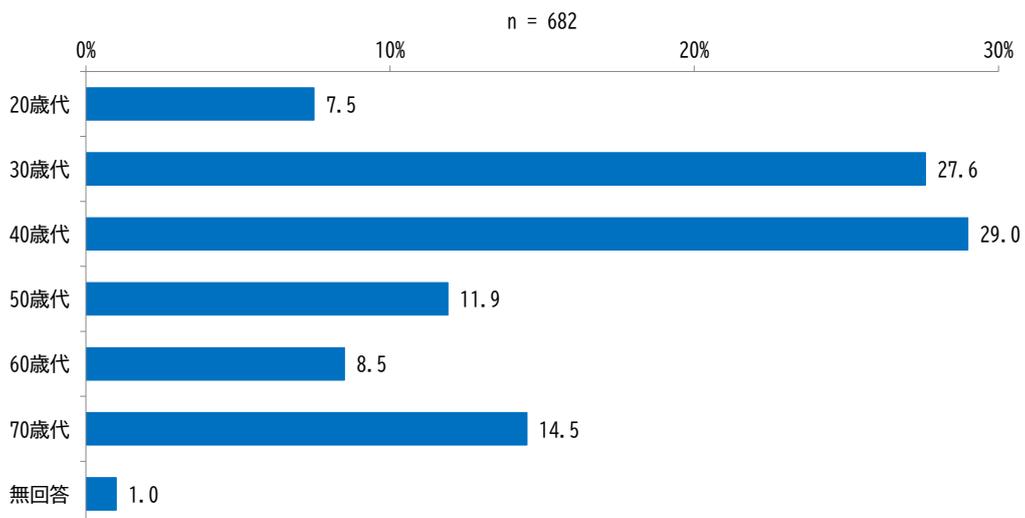


#### 1-2 年齢 .....

問2 年齢はおいくつですか。(令和6年6月1日現在)

▶ 「40歳代」が29.0%で最も高く、次いで「30歳代」が27.6%、「70歳代」が14.5%となっています。

図表 1-2 年齢

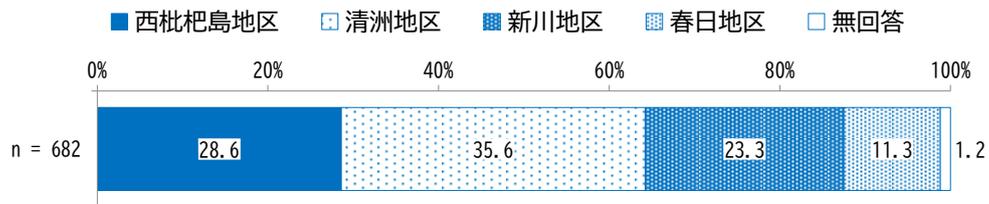


### 1-3 居住地区 .....

問3 居住地区はどちらですか。(○は1つ)

➤ 「清洲地区」が35.6%、「西枇杷島地区」が28.6%となっています。

図表 1-3 居住地区

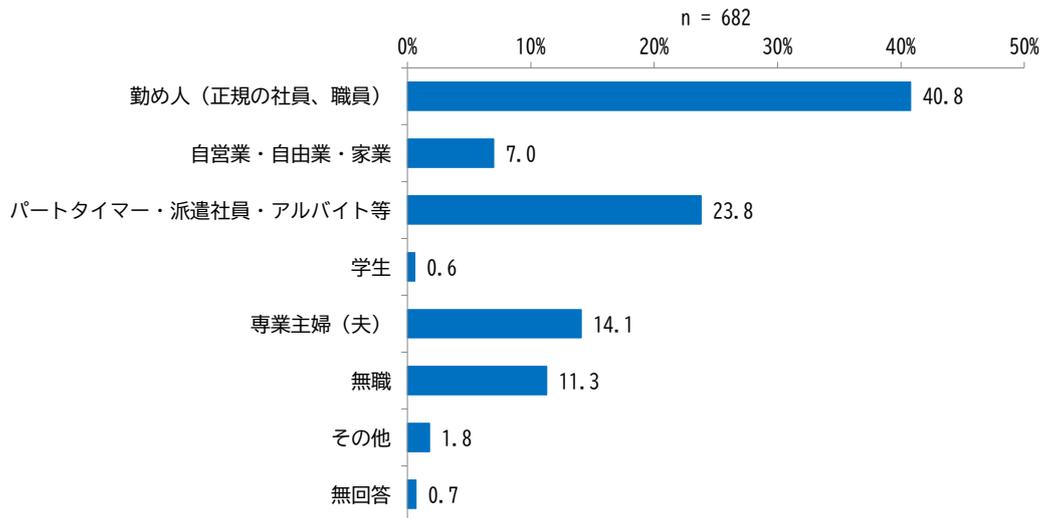


### 1-4 職業 .....

問4 現在の職業は何ですか。(○は1つ)

➤ 「勤め人(正規の社員、職員)」が40.8%で最も高く、次いで「パートタイマー・派遣社員・アルバイト等」が23.8%、「専業主婦(夫)」が14.1%となっています。

図表 1-4 職業

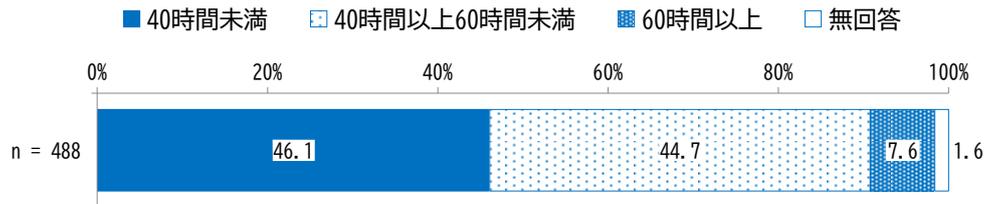


1-5 平均労働時間 .....

(問4で「勤め人」「自営業・自由業・家業」と答えた方に)  
 問5 ここ3か月間の一週間の労働時間は平均で何時間くらいですか。(〇は1つ)

➤ 「40時間未満」が46.1%、「40時間以上60時間未満」が44.7%となっています。

図表 1-5 平均労働時間

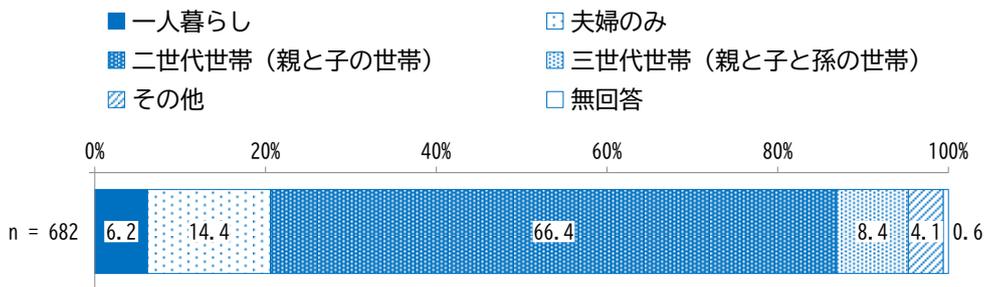


1-6 家族構成 .....

問6 家族構成は次のうちどれですか。(〇は1つ)

➤ 「二世世代世帯(親と子の世帯)」が66.4%、「夫婦のみ」が14.4%となっています。

図表 1-6 家族構成



## 2 健康について

### 2-1 定期的な体重測定の有無

問7 定期的（目安：1か月に1回以上）に体重を測定していますか。（○は1つ）

➤ 「はい」が60.4%、「いいえ」が38.9%となっています。

図表 2-1 定期的な体重測定の有無



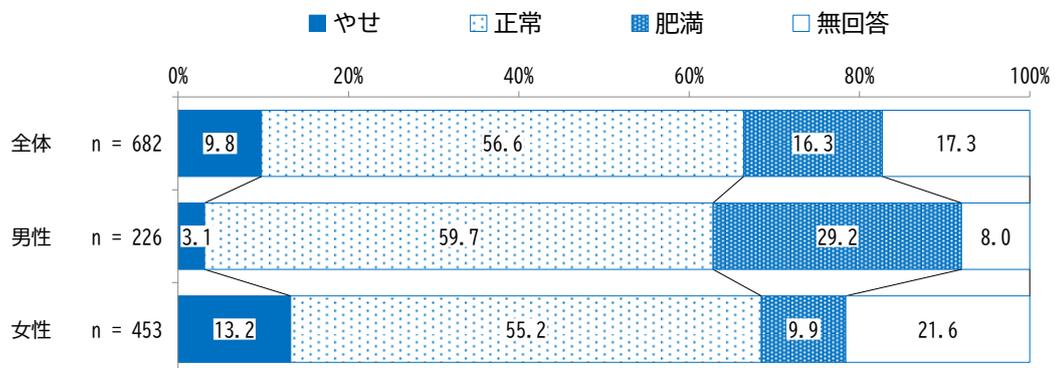
### 2-2 BMI

問8 さしつかえなければ、現在の身長および体重をご記入ください。

➤ 日本肥満学会の基準で現在のBMI(身長及び体重から計算)をみると、「やせ」(BMI 18.5 未満)が9.8%、「正常」(同 18.5 以上 25.0 未満)が56.6%、「肥満」(同 25.0 以上)が16.3%となっています。

➤ 性別でみると、「肥満」は男性で29.2%、女性で9.9%となっています。

図表 2-2 BMI



## 2-3 適正体重の認知度 .....

問9 自分の適正体重を知っていますか。(○は1つ)

※ 適正体重 = 身長 (m) × 身長 (m) × 22

➤ 「知っている」が63.2%、「知らない」が35.3%となっています。

図表 2-3 適正体重の認知度

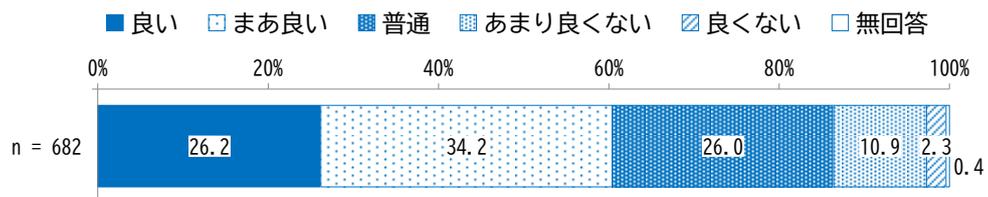


## 2-4 主観的健康観 .....

問10 現在の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

➤ 『良い』(「良い」「まあ良い」の計)が60.4%、「普通」が26.0%、『良くない』(「良くない」「あまり良くない」の計)が13.2%となっています。

図表 2-4 主観的健康観

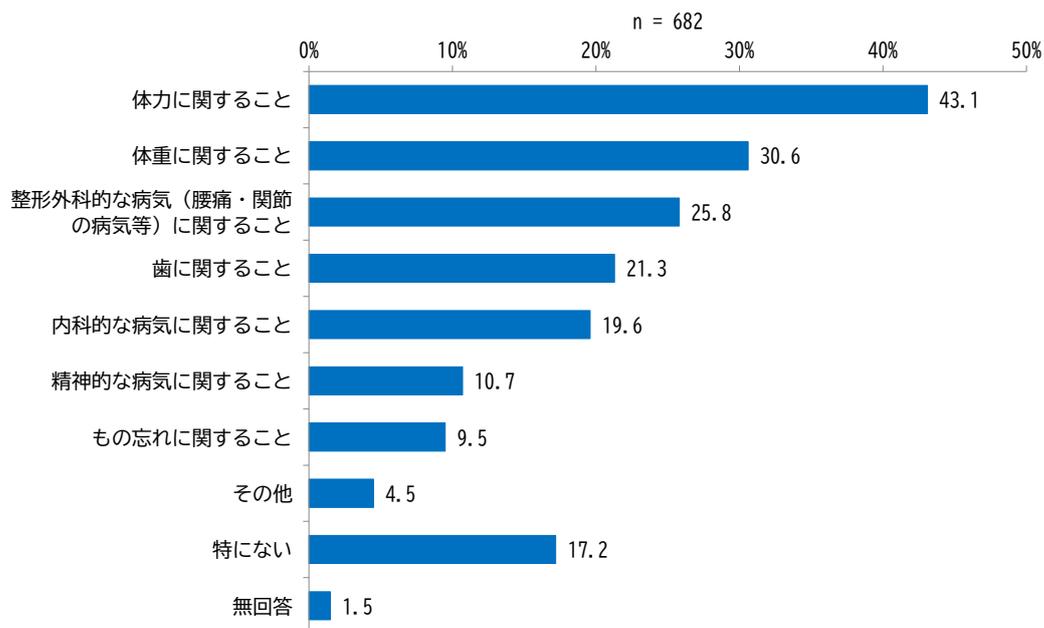


## 2-5 健康に関する悩みや不安 .....

問 11 健康に関してどのような悩みや不安がありますか。(〇はいくつでも)

- 「体力に関すること」が43.1%で最も高く、次いで「体重に関すること」が30.6%、「整形外科的な病気(腰痛・関節の病気等)に関すること」が25.8%となっています。

図表 2-5 健康に関する悩みや不安



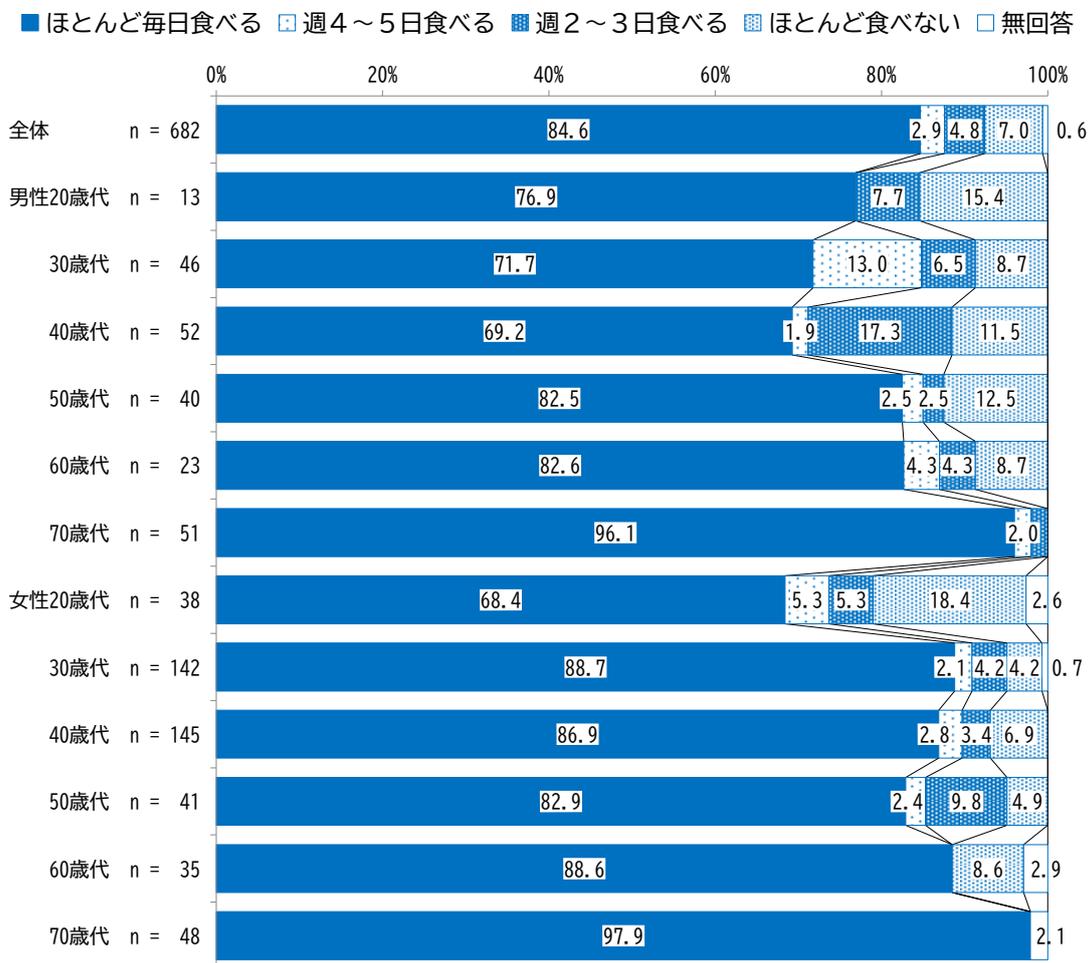
### 3 栄養・食生活について

#### 3-1 朝食の摂取状況

問12 朝食を食べますか。(○は1つ)

- 「ほとんど毎日食べる」が 84.6%、『朝食を食べない日がある』(「週4~5日食べる」「週2~3日食べる」「ほとんど食べない」の計)が 14.7%となっています。
- 性・年代別でみると、『朝食を食べない日がある』は男性 20 歳代で 23.1%、男性 30 歳代で 28.2%、女性 20 歳代で 29.0%となっています。

図表 3-1 朝食の摂取状況



### 3-2 野菜の意識的な摂取 .....

問 13 野菜を意識して食べるようにしていますか。(○は1つ)

➤ 「はい」が83.7%、「いいえ」が15.5%となっています。

図表 3-2 野菜の意識的な摂取

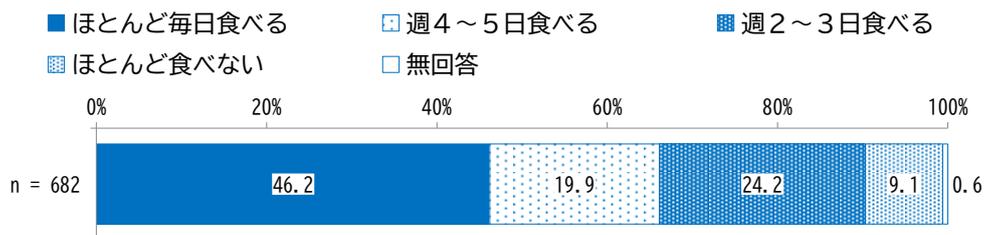


### 3-3 主食・主菜・副菜をそろえた食事の摂取（1日2回以上） .....

問 14 1日に2回以上主食・主菜・副菜を3つそろえて食べるのが週に何日ありますか。(○は1つ)

➤ 「ほとんど毎日食べる」が46.2%で最も高く、次いで「週2～3日食べる」が24.2%、「週4～5日食べる」が19.9%、「ほとんど食べない」が9.1%となっています。

図表 3-3 主食・主菜・副菜をそろえた食事の摂取(1日2回以上)

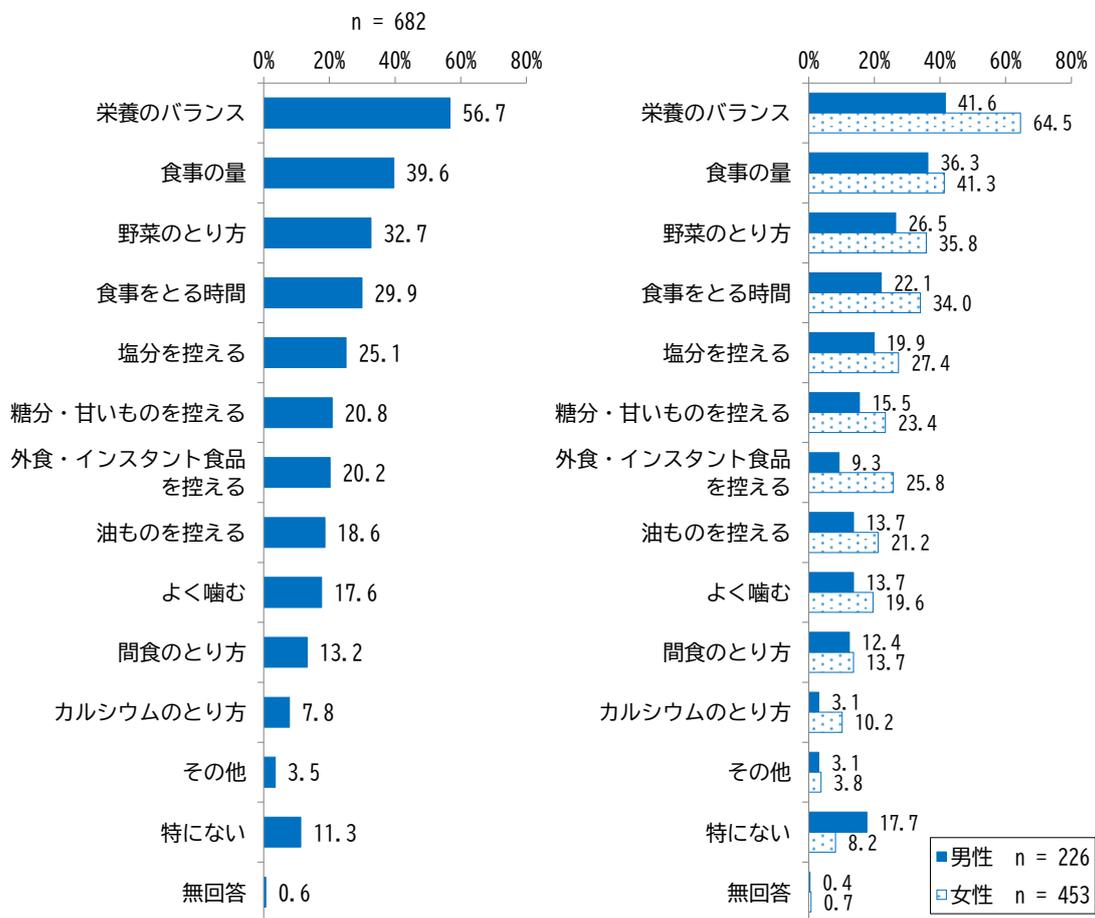


### 3-4 食事について気をつけていること ……………

問 15 食事について、気をつけていることはありますか。(〇はいくつでも)

- 「栄養のバランス」が 56.7%で最も高く、次いで「食事の量」が 39.6%、「野菜のとり方」が 32.7%、「食事をとる時間」が 29.9%、「塩分を控える」が 25.1%となっています。また、「特にない」が 11.3%となっています。
- 性別でみると、「特にない」を除く全項目で女性の方が高く、特に「栄養のバランス」「外食・インスタント食品を控える」「食事をとる時間」で高くなっています。

図表 3-4 食事について気をつけていること

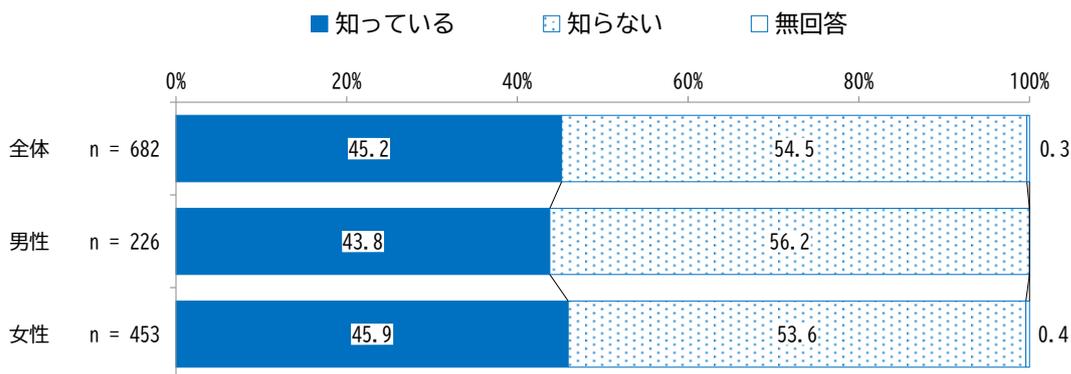


### 3-5 適切な食事内容・量の認知度 .....

問 16 自分にとって適切な食事内容・量を知っていますか。(○は1つ)

- 「知っている」が45.2%、「知らない」が54.5%となっています。
- 性別でみると、大きな差はみられませんでした。

図表 3-5 適切な食事内容・量の認知度

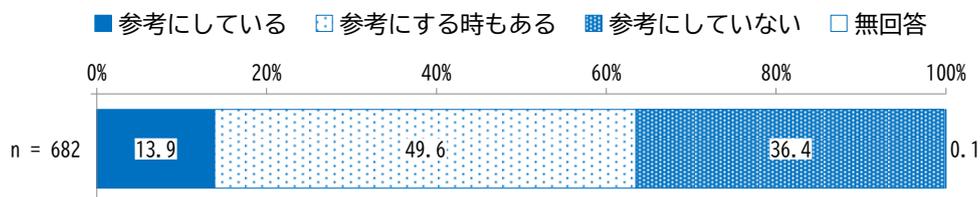


### 3-6 栄養成分表示の活用 .....

問 17 外食や食品を購入するとき、カロリーなどの栄養成分表示を参考にしますか。(○は1つ)

- 「参考にするともある」が49.6%、「参考にしていない」が36.4%となっています。

図表 3-6 栄養成分表示の活用



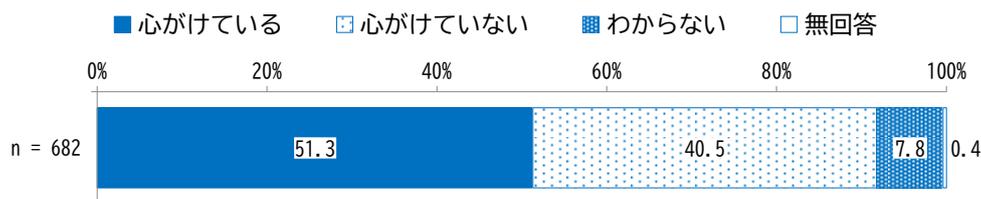
## 4 身体活動・運動について

### 4-1 身体を動かす心がけ .....

問 18 日頃から意識的に身体を動かすことを心がけていますか。(○は1つ)

➤ 「心がけている」が51.3%、「心がけていない」が40.5%となっています。

図表 4-1 身体を動かす心がけ



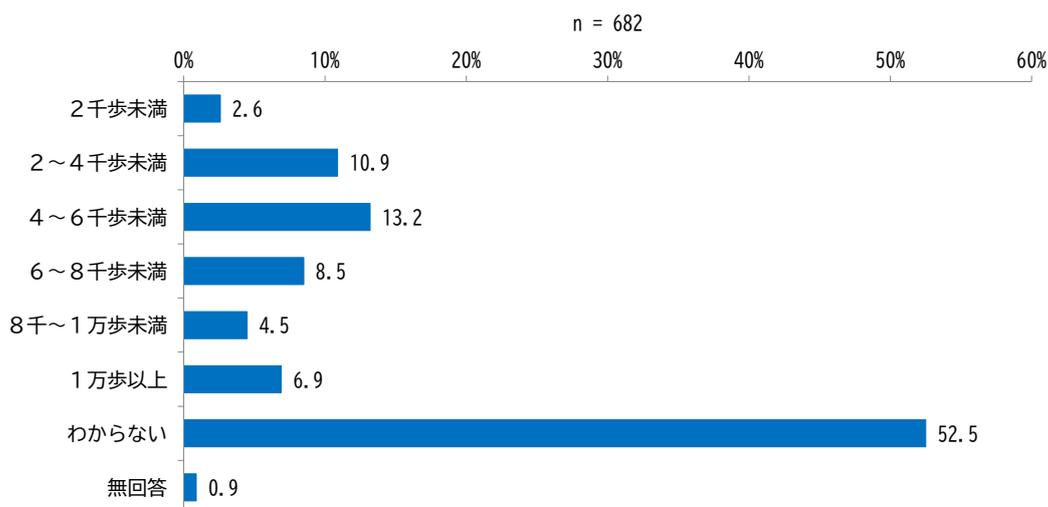
### 4-2 1日の平均歩数 .....

問 19 1日に平均何歩くらい歩きますか。(○は1つ)

➤ 「わからない」が52.5%で、歩数の回答者(46.6%)の中では「4~6千歩未満」が13.2%、「2~4千歩未満」が10.9%となっています。

➤ 性別でみると、1日の平均歩数は男性で5,959歩、女性で5,362歩となっています。

図表 4-2 1日の平均歩数

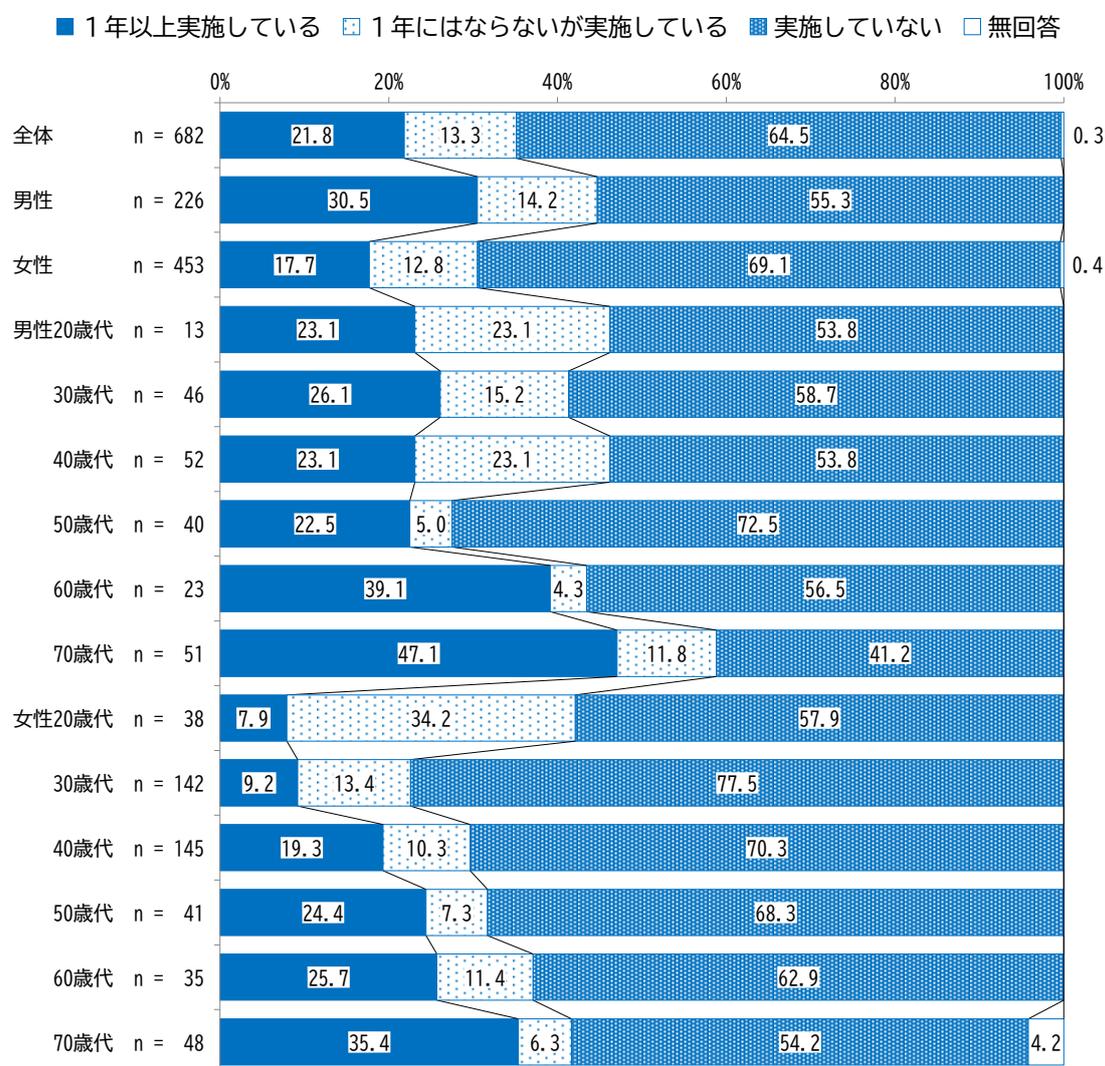


### 4-3 運動習慣の実施状況 .....

問 20 1回30分以上の運動を週2回以上実施していますか。(○は1つ)

- ▶ 『運動習慣がある』(「1年以上実施している」「1年にはならないが実施している」の計)が35.1%、「実施していない」が64.5%となっています。
- ▶ 性別で見ると、『運動習慣がある』は男性で44.7%、女性で30.5%となっています。
- ▶ 性別・年代別で見ると、「実施していない」は男性50歳代、女性30歳代・40歳代で高くなっています。

図表 4-3 運動習慣の実施状況

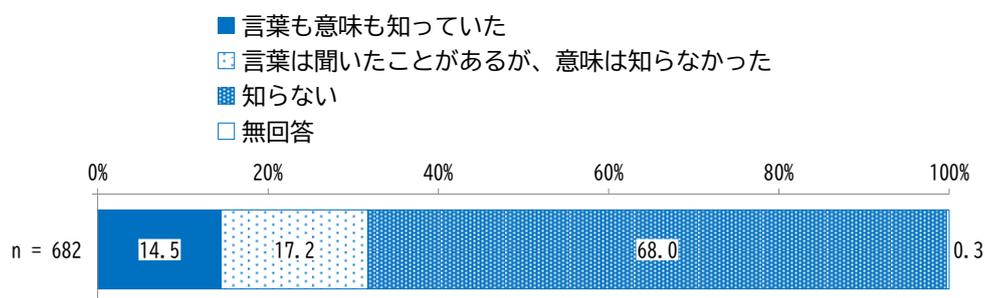


#### 4-4 「ロコモティブシンドローム」の認知度 .....

問 21 「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」とは、運動器（骨、関節、筋肉など）の衰えにより、日常生活での自立度が低下し、要介護になる可能性の高い状態をいいます。このロコモティブシンドロームを知っていましたか。（○は1つ）

➤ 「言葉も意味も知っていた」が 14.5%、「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らなかった」が 17.2%、「知らない」が 68.0%となっています。

図表 4-4 「ロコモティブシンドローム」の認知度

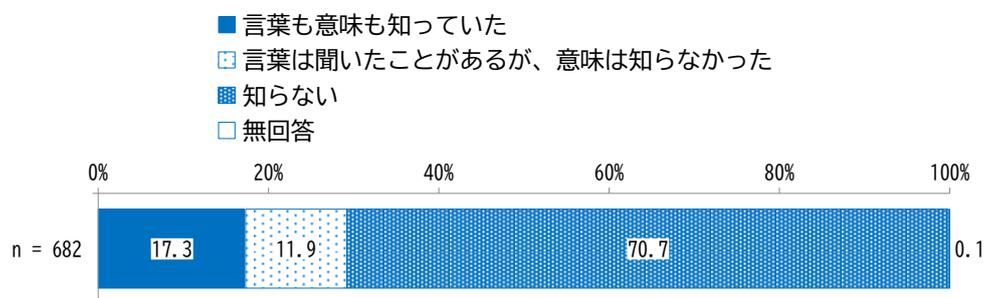


#### 4-5 「フレイル」の認知度 .....

問 22 「フレイル」について知っていましたか。（○は1つ）

➤ 「知らない」が 70.7%、「言葉も意味も知っていた」が 17.3%となっています。

図表 4-5 「フレイル」の認知度



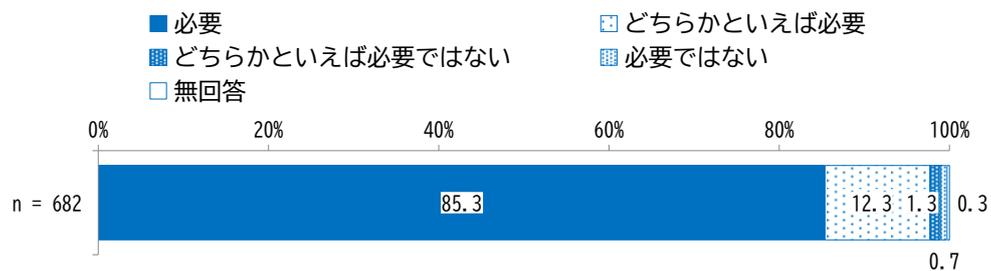
## 5 休養・こころの健康について

### 5-1 健康のために睡眠や休養をとる必要性

問 23 ふだんの生活において、健康のために睡眠や休養をとる必要があると思いますか。(〇は1つ)

➤ 「必要」が85.3%、「どちらかといえば必要」が12.3%となっています。

図表 5-1 健康のために睡眠や休養をとる必要性

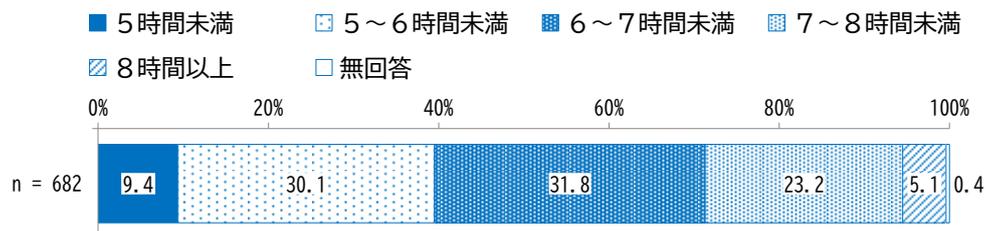


### 5-2 1日の平均睡眠時間

問 24 1日の睡眠時間は平均して何時間くらいですか。(〇は1つ)

➤ 「6～7時間未満」が31.8%で最も高く、次いで「5～6時間未満」が30.1%、「7～8時間未満」が23.2%となっています。

図表 5-2 1日の平均睡眠時間

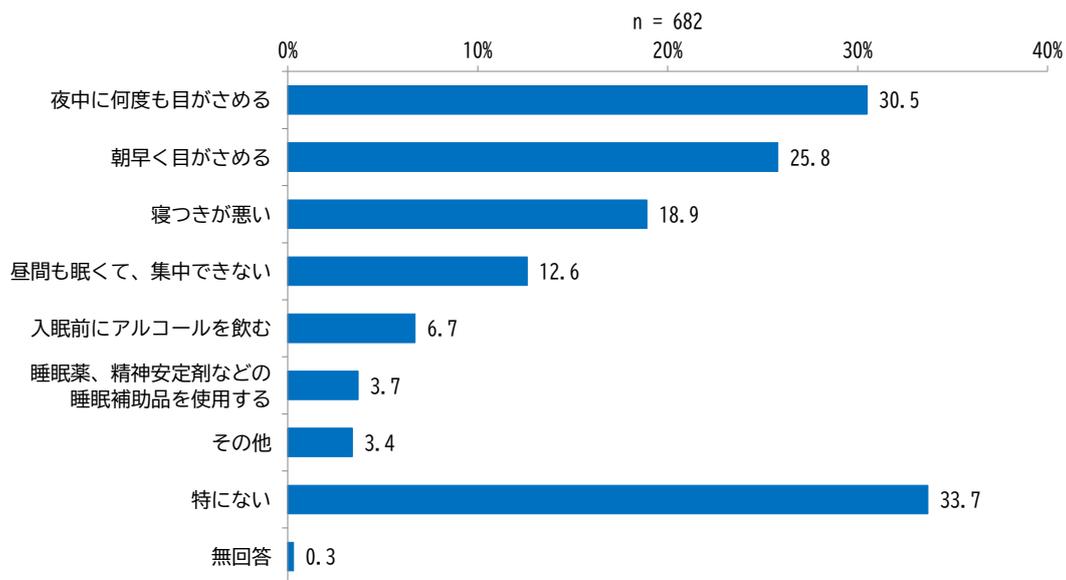


### 5-3 睡眠の状況 .....

問 25 睡眠について次のようなことがありますか。(○はいくつでも)

➤ 「特にない」が 33.7%で最も高く、次いで「夜中に何度も目がさめる」が 30.5%、「朝早く目がさめる」が 25.8%となっています。

図表 5-3 睡眠の状況



#### 5-4 睡眠による疲れの解消度 .....

問 26 ふだんっている睡眠で疲れがとれていますか。(○は1つ)

➤ 『とれている』(「十分とれている」「まあまあとれている」の計)が 67.0%、『十分とれていない』(「まったくとれていない」「あまりとれていない」の計)が 32.8%となっています。

図表 5-4 睡眠による疲れの解消度

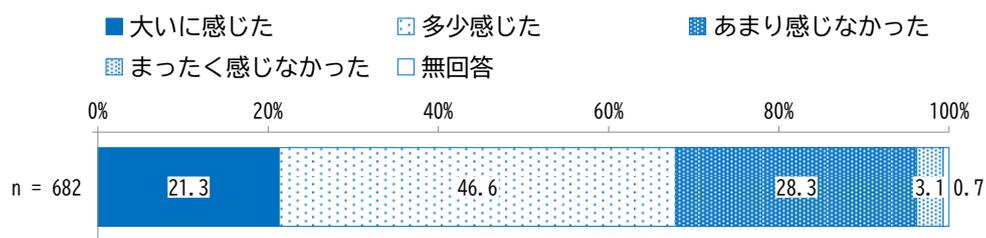


#### 5-5 この1か月間のストレスの状況 .....

問 27 この1か月間に、ストレスを感じましたか。(○は1つ)

➤ この1か月間のストレスについて、『感じた』(「大いに感じた」「多少感じた」の計)が 67.9%、『感じなかった』(「まったく感じなかった」「あまり感じなかった」の計)が 31.4%となっています。

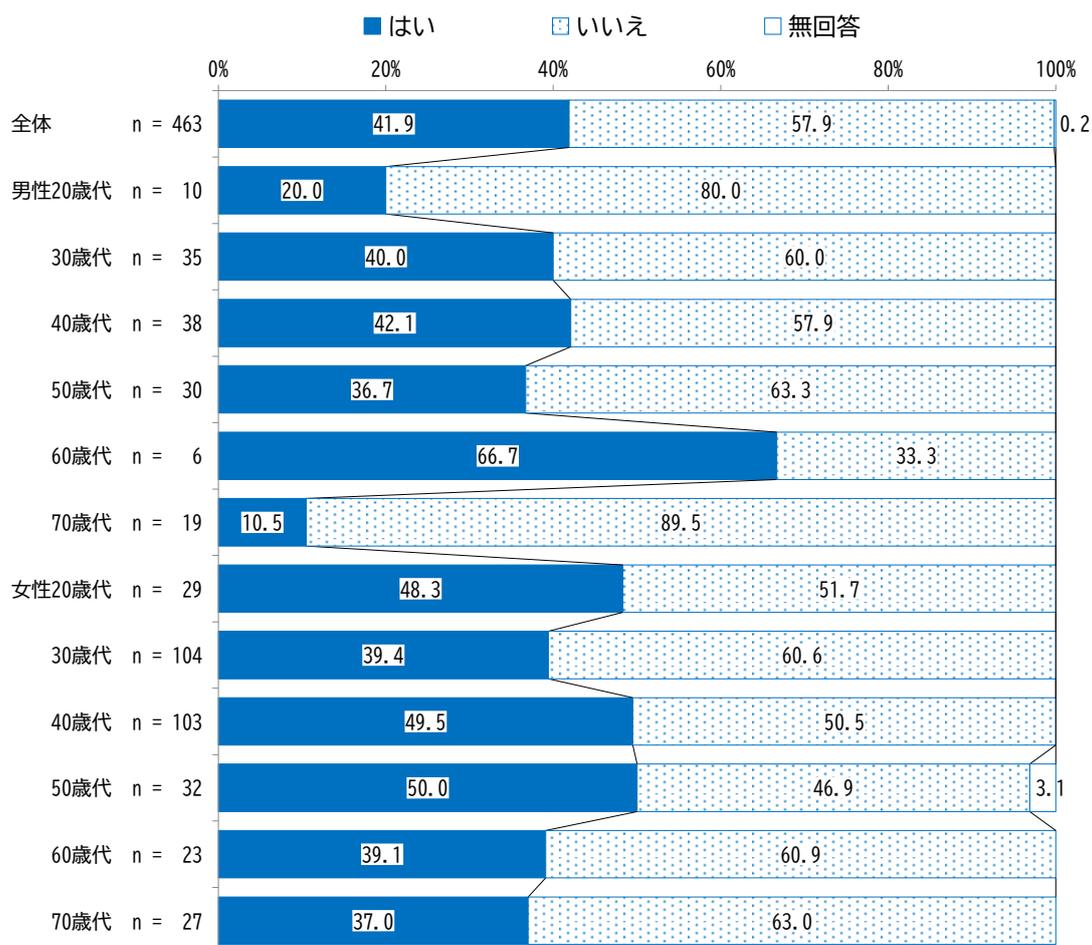
図表 5-5-1 1か月間にストレスを感じたこと



(問 27で「はい」と答えた方に)  
 問 27-1 ストレスが大きくて、逃げ出したいと思うことがありますか。(○は1つ)

- ストレスが大きくて逃げ出したいと思うことは、「はい」(ある)が 41.9%、「いいえ」(ない)が 57.9%となっています。
- 性・年代別で見ると、「はい」は女性 40 歳代・50 歳代で高くなっています。

図表 5-5-2 ストレスが大きくて逃げ出したいと思うこと

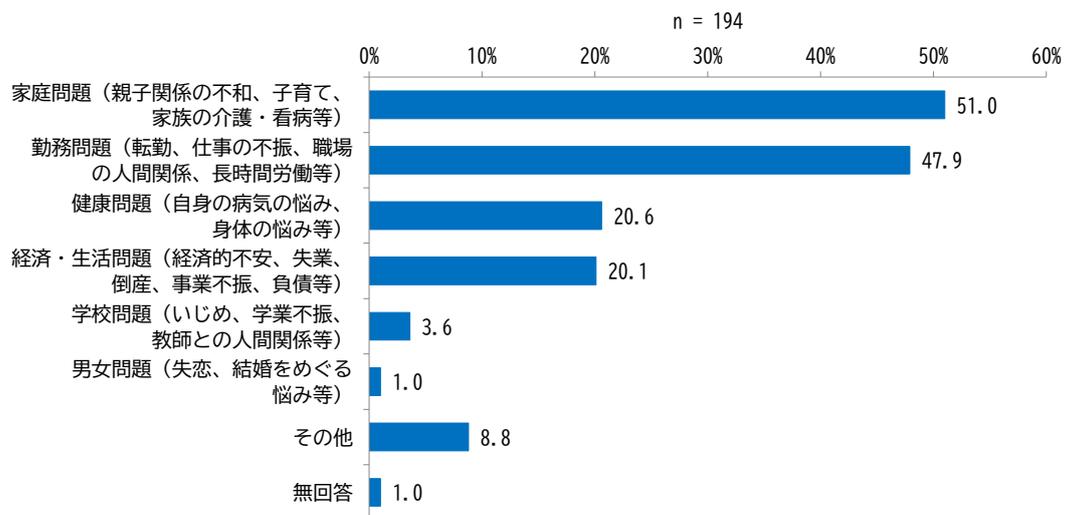


(問 27-1 で「はい」と答えた方に)

問 27-2 ストレスが大きくて、逃げ出したいと思った理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- ストレスが大きくて逃げ出したいと思った理由は、「家庭問題(親子関係の不和、子育て、家族の介護・看病等)」が 51.0%で最も高く、次いで「勤務問題(転勤、仕事の不振、職場の人間関係、長時間労働等)」が 47.9%、「健康問題(自身の病気の悩み、身体の悩み等)」が 20.6%となっています。

図表 5-5-3 ストレスが大きくて逃げ出したいと思った理由

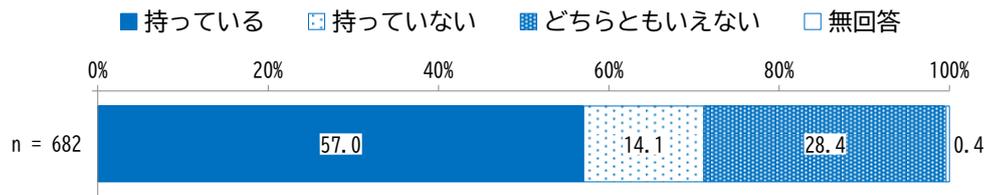


## 5-6 ストレス解消方法の有無

問 28 自分なりのストレス解消方法を持っていますか。(〇は1つ)

- 「持っている」が57.0%、「持っていない」が14.1%、「どちらともいえない」が28.4%となっています。

図表 5-6 ストレス解消方法の有無

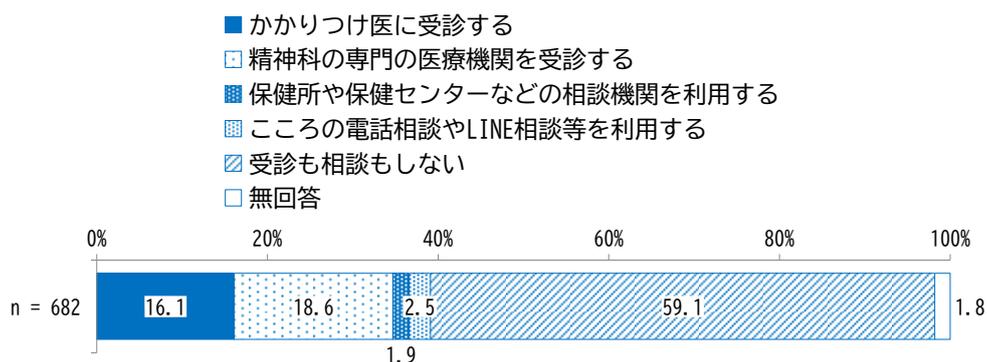


## 5-7 こころの不調が続いた場合の医療機関などの利用の状況

問 29 あなたは、もしこころの不調（不安感、イライラ感、落ち込み等）が2週間以上続いた場合、医療機関などの受診や相談を利用しますか。(〇は1つ)

- こころの不調が続いた場合の医療機関などの利用について、「受診も相談もしない」が59.1%で最も高く、次いで「精神科の専門の医療機関を受診する」が18.6%、「かかりつけ医を受診する」が16.1%となっています。

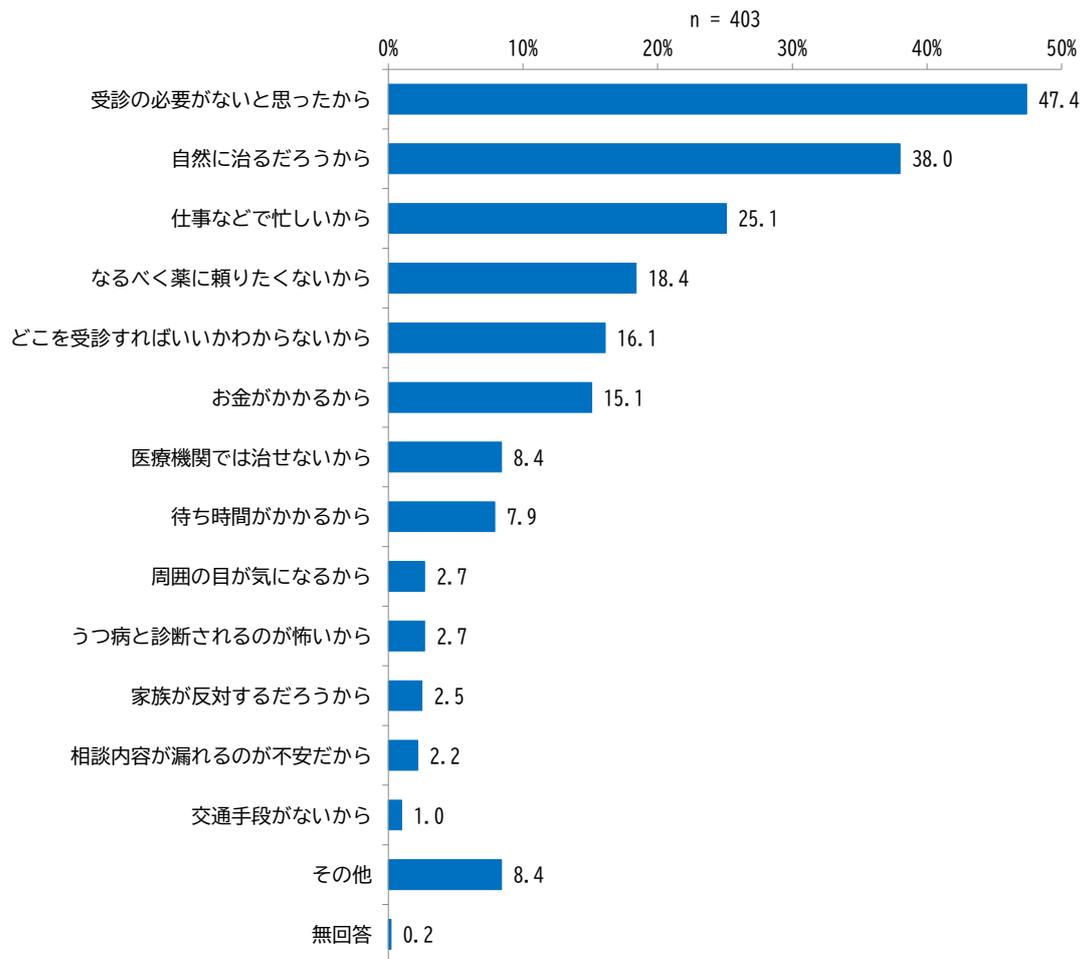
図表 5-7-1 こころの不調が続いた場合の医療機関などの利用



(問 29 で「受診も相談もしない」と答えた方に)  
問 29-1 それはどのような理由からですか。(〇はいくつでも)

➤ 受診も相談もしない理由は、「受診の必要がないと思ったから」が47.4%で最も高く、次いで「自然に治るだろうから」が 38.0%、「仕事などで忙しいから」が 25.1%となっています。

図表 5-7-2 受診も相談もしない理由

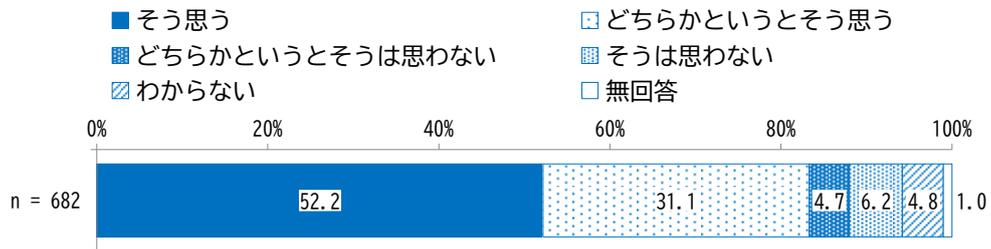


5-8 不満や悩みなどを話せる人の有無 .....

問 30 あなたの不満や悩みやつらい気持ちを話せる人は周囲にいますか。(○は1つ)

➤『そう思う』(「そう思う」「どちらかというと思う」の計)が 83.3%、『そう思わない』(「そうは思わない」「どちらかというとは思わない」の計)が 10.9%、「わからない」が 4.8%となっています。

図表 5-8 不満や悩みなどを話せる人の有無

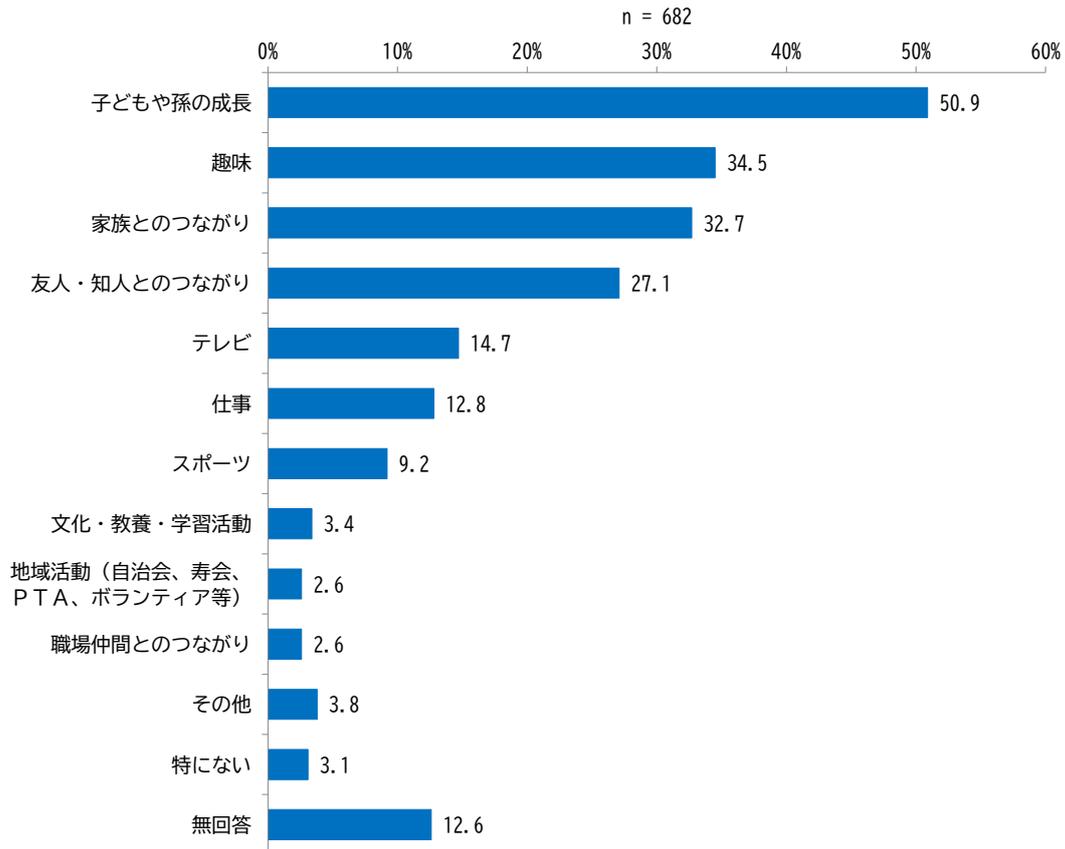


5-9 生きがいや楽しみ .....

問 31 現在の生きがい、楽しみとなっているものは何ですか。(〇は3つまで)

➤ 「子どもや孫の成長」が 50.9%で最も高く、次いで「趣味」が 34.5%、「家族とのつながり」が 32.7%となっています。

図表 5-9 生きがいや楽しみ

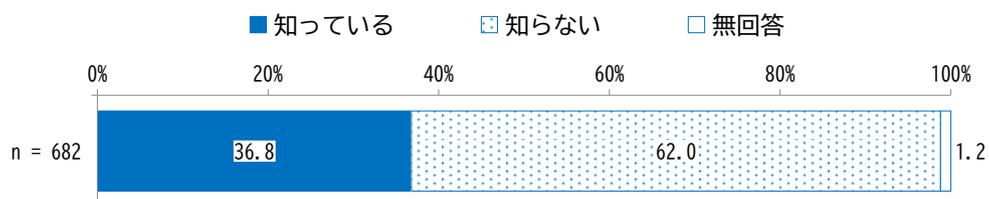


5-10 市が行う心の健康相談窓口の認知度 .....

問 32 市が行う心の健康相談窓口があることを知っていますか。(〇は1つ)

➤ 「知っている」が 36.8%、「知らない」が 62.0%となっています。

図表 5-10 市が行う心の健康相談窓口の認知度



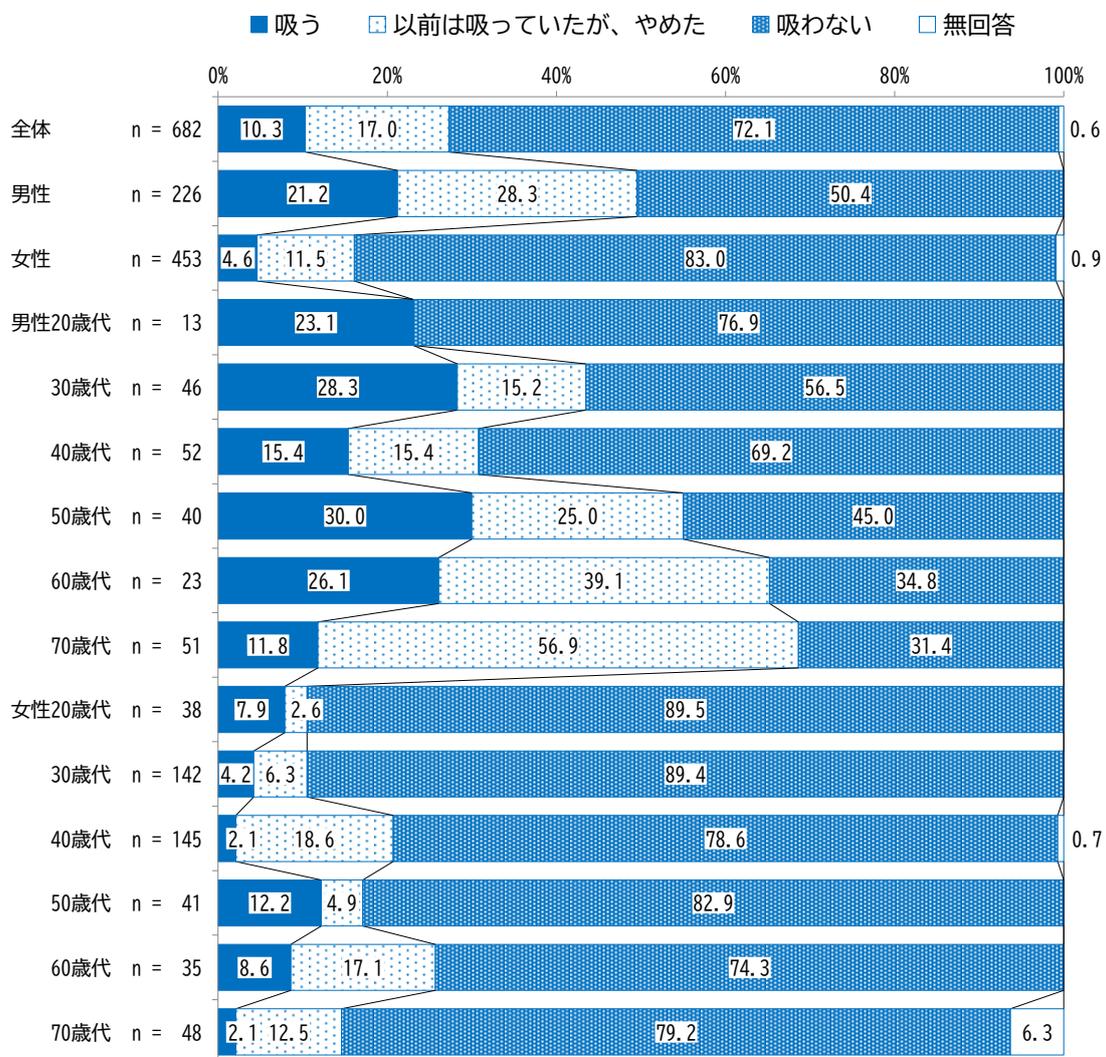
## 6 たばこについて

### 6-1 喫煙状況

問 33 たばこ（紙巻・加熱式）を吸いますか。（○は1つ）

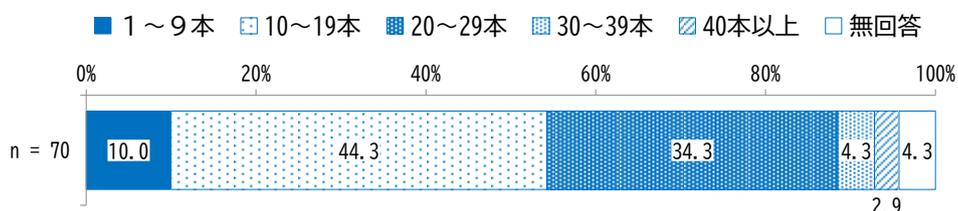
- 喫煙について、「吸う」は10.3%、「以前は吸っていたが、やめた」は17.0%、「吸わない」は72.1%となっています。
- 性別で見ると、「吸う」は男性で21.2%、女性で4.6%となっています。
- 性・年代別で見ると、「吸う」は男性20歳代で23.1%、女性30歳代で4.2%となっています。

図表 6-1-1 喫煙状況



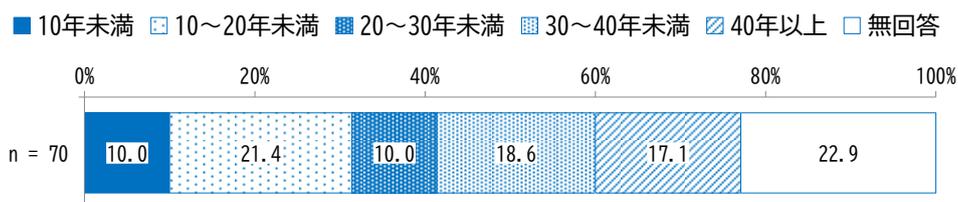
- 喫煙者の1日の平均喫煙本数は、「10～19本」が44.3%で最も高く、次いで「20～29本」が34.3%、「1～9本」が10.0%となっています。

図表 6-1-2 1日の平均喫煙本数



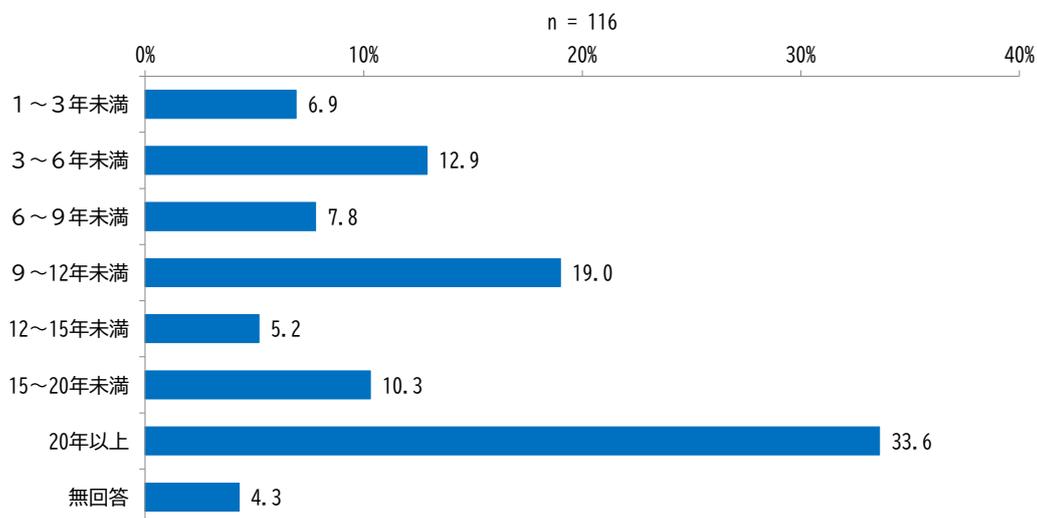
- 喫煙者の喫煙年数は、「10～20年未満」が21.4%で最も高く、次いで「30～40年未満」が18.6%、「40年以上」が17.1%となっています。

図表 6-1-3 喫煙年数



- 喫煙をやめてからの年数は、「20年以上」が33.6%で最も高く、次いで「9～12年未満」が19.0%、「3～6年未満」が12.9%となっています。

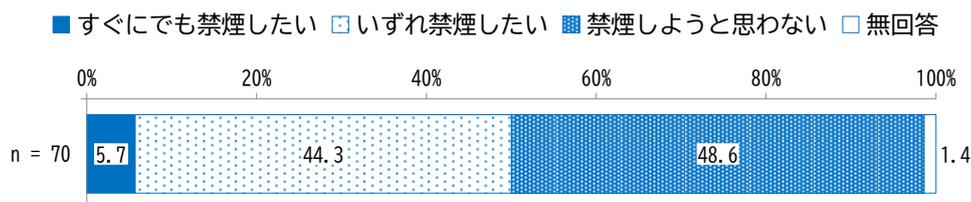
図表 6-1-4 喫煙をやめてからの年数



(問 33 で「吸う」と答えた方に)  
 問 33-1 禁煙したいと思いますか。(○は1つ)

➤ 禁煙の意向について、『禁煙したい』(「すぐにでも禁煙したい」「いずれ禁煙したい」の計)が 50.0%、「禁煙しようと思わない」が 48.6%となっています。

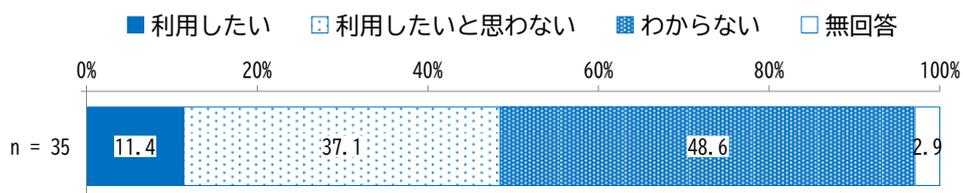
図表 6-1-5 禁煙の意向



(問 33-1 で「すぐにでも禁煙したい」「いずれ禁煙したい」と答えた方に)  
 問 33-2 保険適用である禁煙外来(医師の支援を受けながら禁煙をめざすもの)を利用したいと思いますか。(○は1つ)

➤ 禁煙外来の利用意向は、「利用したい」が 11.4%、「利用したいと思わない」が 37.1%、「わからない」が 48.6%となっています。

図表 6-1-6 禁煙外来の利用意向

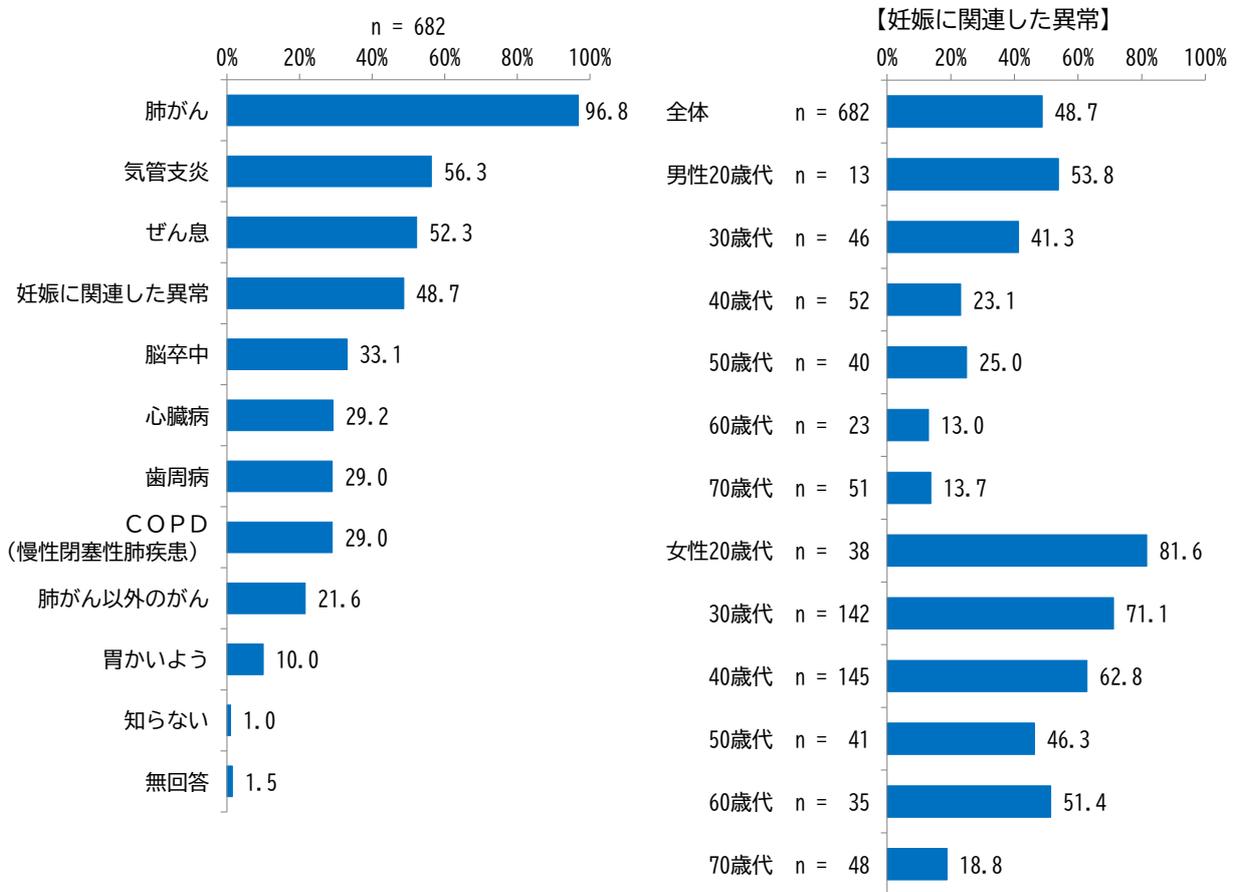


## 6-2 たばこが影響する病気の認知度 .....

問 34 たばこが影響する病気として知っているのはどれですか。(○はいくつでも)

- 「肺がん」が 96.8%で最も高く、次いで「気管支炎」が 56.3%、「ぜん息」が 52.3%、「**妊娠に関連した異常**」が 48.7%となっています。
- 「妊娠に関連した異常」について性・年代別で見ると、男性 40 歳代以上及び女性 70 歳代で低くなっています。

図表 6-2 たばこが影響する病気の認知度

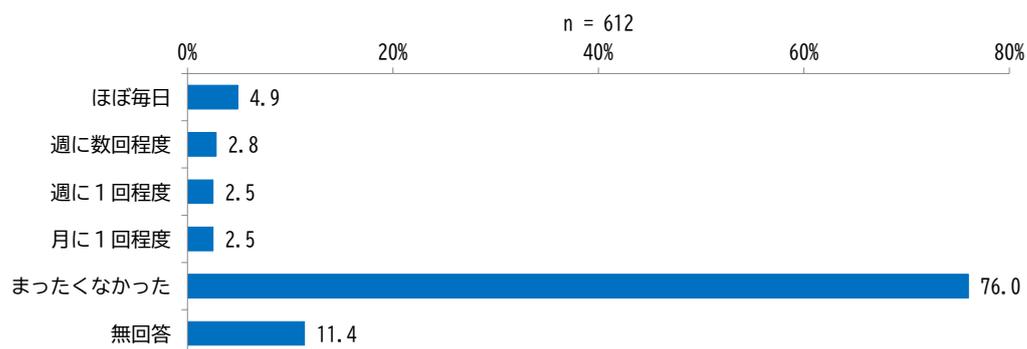


### 6-3 受動喫煙の機会の状況 .....

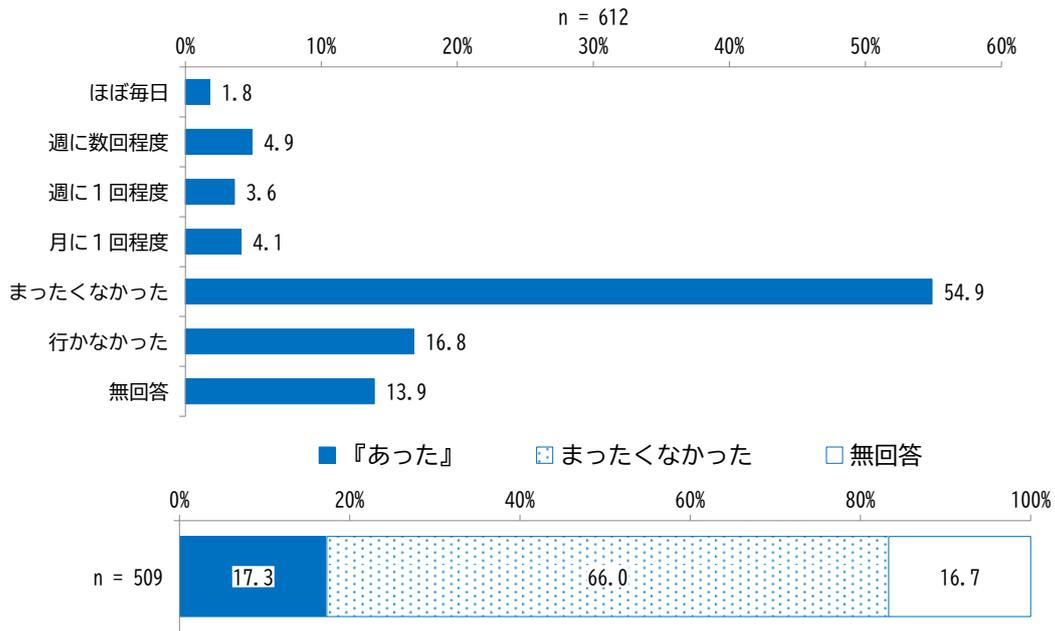
問 35 あなたは、この1か月間に、望まずに自分以外の人が吸っていたたばこの煙を吸う機会（受動喫煙）がありましたか。次の場所についてお答えください。（○はそれぞれ1つずつ）

- 家庭での受動喫煙の機会は、『あった』（「ほぼ毎日」～「月に1回程度」の計）が 12.7%、「まったくなかった」が 76.0%となっています。
- 職場での受動喫煙の機会は、「まったくなかった」が 54.9%で最も高く、次いで「行かなかった」が 16.8%、「週に数回程度」が 4.9%となっています。「行かなかった」を母数から除いて計算すると、『あった』が17.3%、「まったくなかった」が66.0%となっています。
- 飲食店での受動喫煙の機会は、「まったくなかった」が 59.2%で最も高く、次いで「月に1回程度」が 15.4%、「行かなかった」が 12.1%となっています。「行かなかった」を母数から除いて計算すると、『あった』が 21.7%、「まったくなかった」が 67.3%となっています。

図表 6-3-1 受動喫煙の機会の状況（家庭）

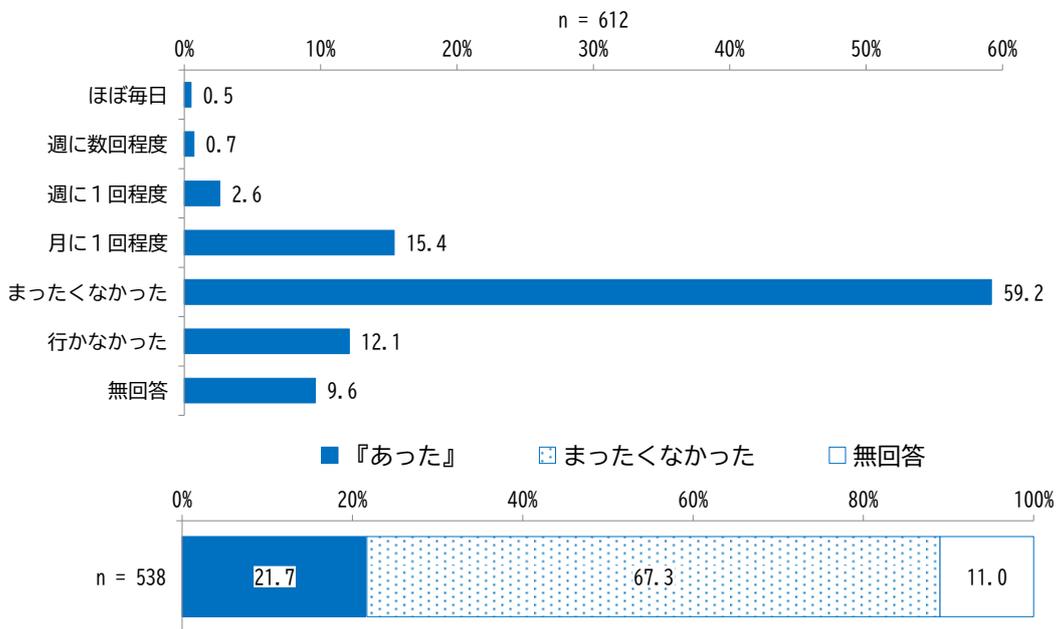


図表 6-3-2 受動喫煙の機会の状況（職場）



※「行かなかった」を母数から除いて計算

図表 6-3-3 受動喫煙の機会の状況（飲食店）



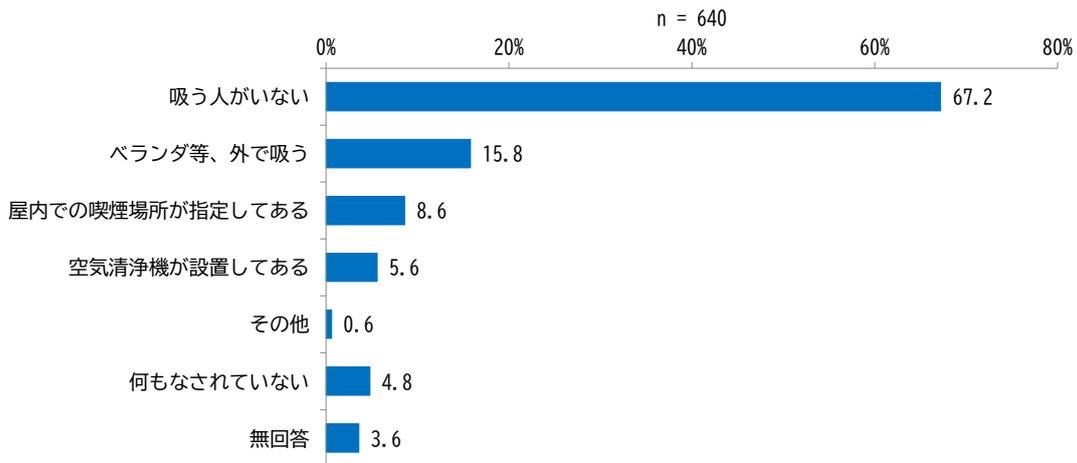
※「行かなかった」を母数から除いて計算

#### 6-4 家庭での分煙対策の状況

問 36 <家族といっしょに住んでいる方へ>あなたの家では受動喫煙が生じないように分煙対策がされていますか。(〇はいくつでも)

➤「吸う人がいない」が67.2%で最も高く、次いで「ベランダ等、外で吸う」が15.8%、「屋内での喫煙場所が指定してある」が8.6%となっています。

図表 6-4 家庭での分煙対策の状況

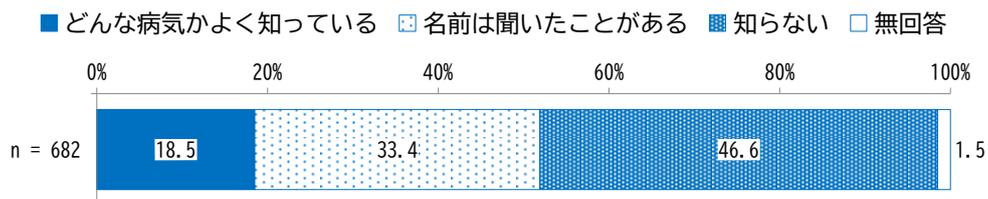


#### 6-5 「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」の認知度

問 37 COPD（慢性閉塞性肺疾患）とは、主として長期の喫煙によってもたらされる肺の炎症性疾患で、主に咳・痰・息切れなどの症状があり、ゆるやかに呼吸障害が進行する、かつて「肺気腫」「慢性気管支炎」と称された疾患です。この病気を知っていますか。(〇は1つ)

➤『知っている』(「どんな病気かよく知っている」「名前は聞いたことがある」の計)が51.9%、「知らない」が46.6%となっています。

図表 6-5 「COPD(慢性閉塞性肺疾患)」の認知度



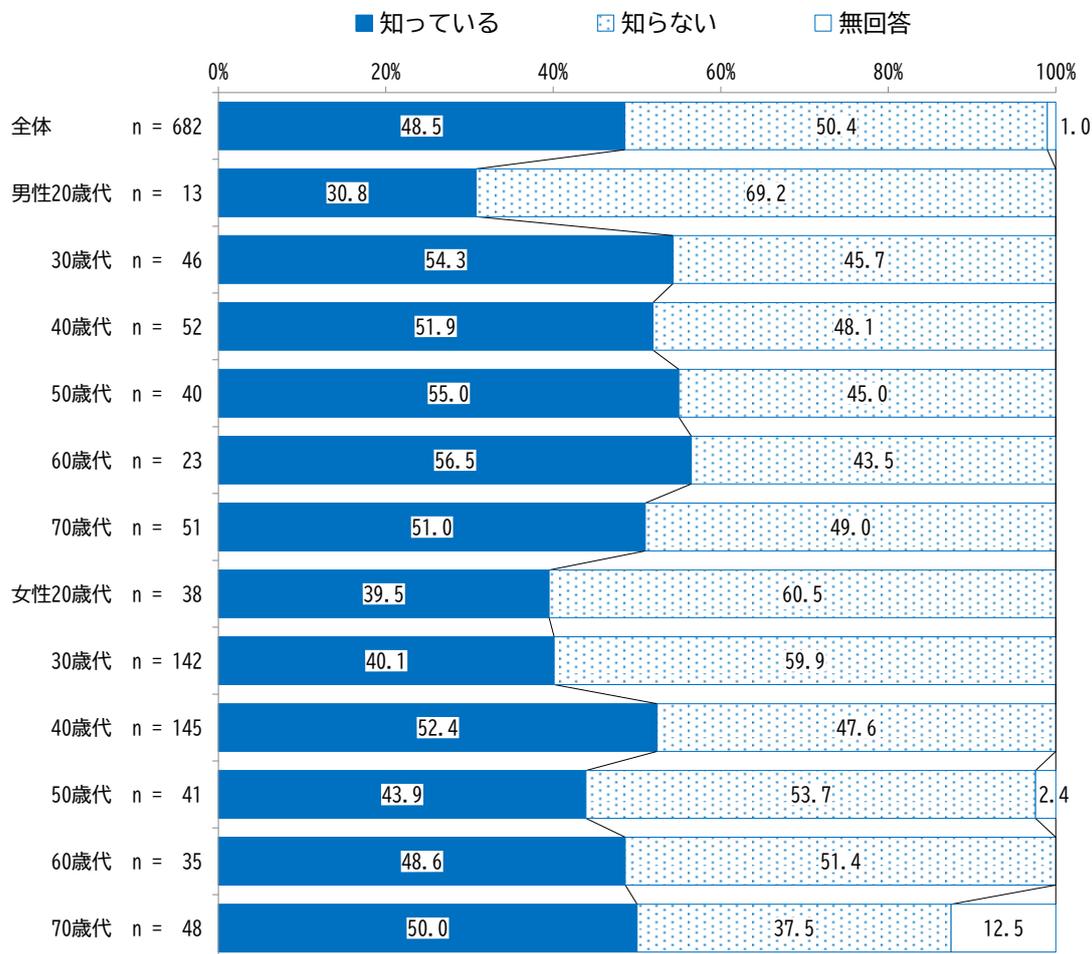
## 7 アルコールについて

### 7-1 「節度ある適度な飲酒」の認知度

問 38 「節度ある適度な飲酒」として、1日平均ビール中瓶1本程度（純アルコールで約20g）とされていますが、このことを知っていますか。（○は1つ）

- 「知っている」が48.5%、「知らない」が50.4%となっています。
- 性・年代別で見ると、「知らない」は男性20歳代、女性20歳代・30歳代で高くなっています。

図表 7-1 「節度ある適度な飲酒」の認知度

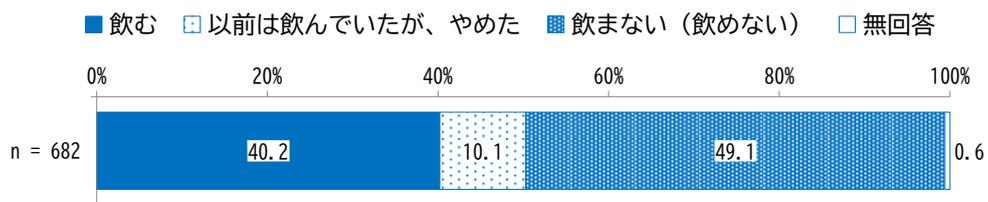


7-2 飲酒の状況 .....

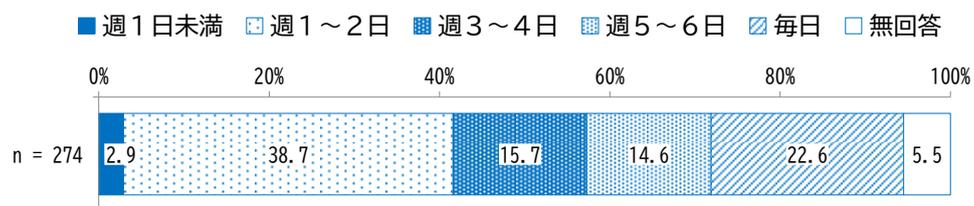
問 39 お酒（ビール・日本酒・洋酒・焼酎・ワイン等）を飲みますか。（○は1つ）

- 飲酒について、「飲む」が40.2%、「飲まない(飲めない)」が49.1%となっています。
- 「飲む」人の飲酒の日数は、「週1～2日」が38.7%で最も高く、次いで「毎日」が22.6%、「週3～4日」が15.7%となっています。

図表 7-2-1 飲酒の状況



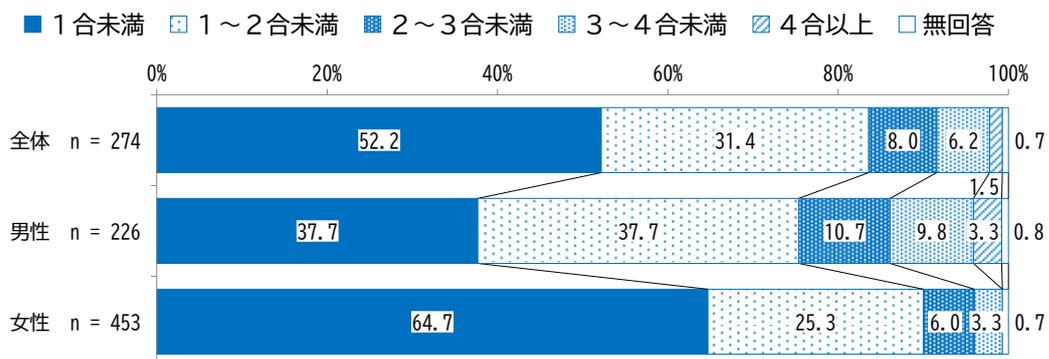
図表 7-2-2 飲酒の日数



(問 39で「飲む」と答えた方に)  
問 39-1 1日に飲むお酒の量は平均してどのくらいですか。（○は1つ）

- 1日の飲酒量は、「1合未満」が52.2%で最も高く、次いで「1～2合未満」が31.4%となっています。
- 性別で見ると、『3合以上』(「3～4合未満」「4合以上」の計)は男性で13.1%、女性で3.3%となっています。

図表 7-2-3 1日の飲酒量

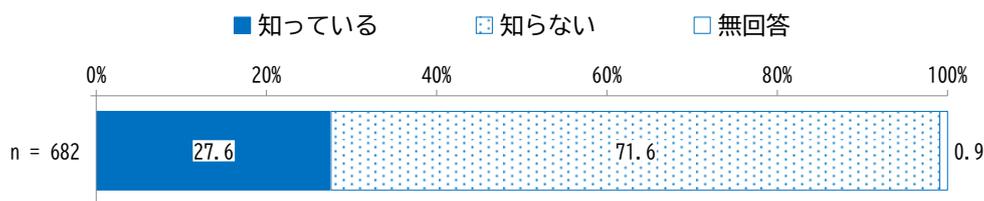


### 7-3 「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」の認知度 .....

問 40 「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」として、男性は1日平均日本酒2合以上（ビール中瓶2本）、女性は1合以上（ビール中瓶1本）とされていますが、このことを知っていますか。（○は1つ）

➤ 「知っている」が27.6%、「知らない」が71.6%となっています。

図表 7-3 「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」の認知度



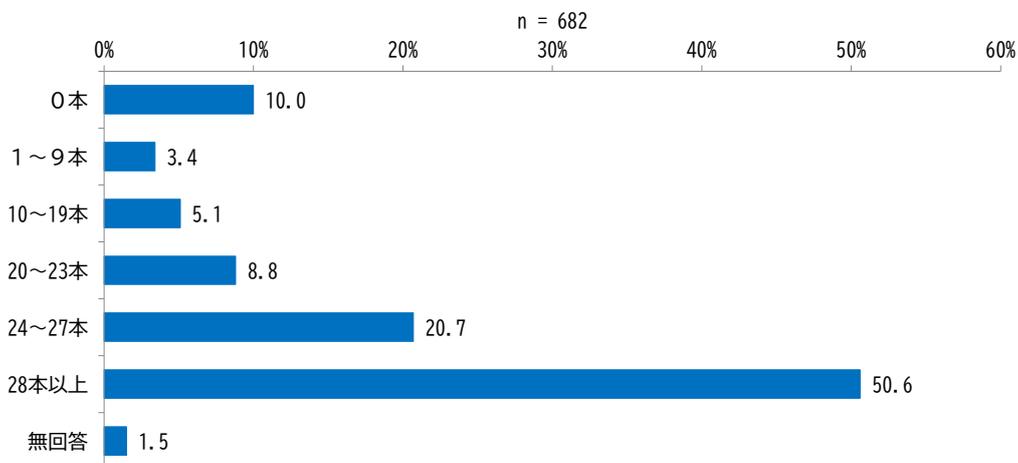
## 8 歯と口腔の健康について

### 8-1 歯の本数 .....

問 41 現在、自分の歯（入れ歯・インプラントの歯は含みません）は何本ありますか。（○は1つ）

➤ 「28本以上」が50.6%で最も高く、次いで「24～27本」が20.7%、「0本」が10.0%となっています。

図表 8-1 歯の本数

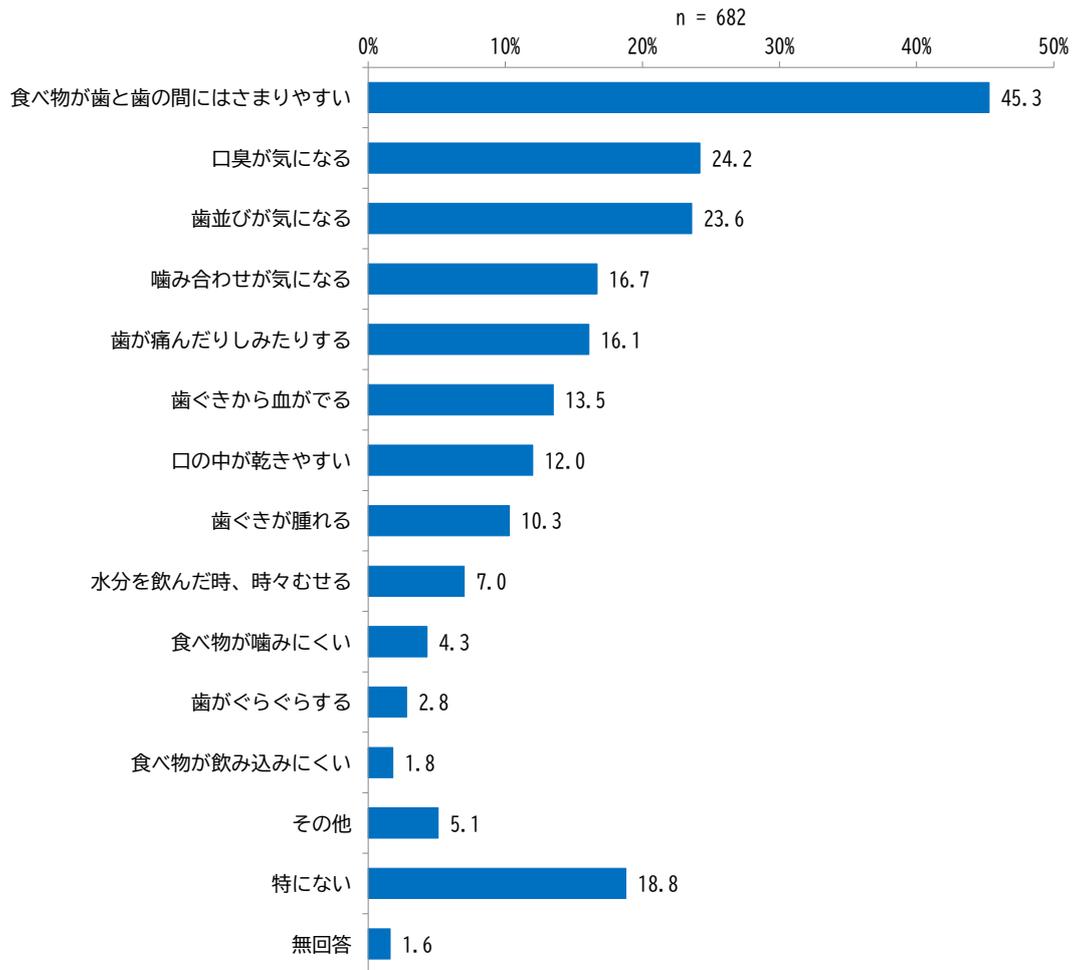


## 8-2 歯や口の中で気になること .....

問 42 あなたは、歯や口の中で気になることがありますか。(○はいくつでも)

➤ 「食べ物が歯と歯の間にはさまりやすい」が 45.3%で最も高く、次いで「口臭が気になる」が 24.2%、「歯並びが気になる」が 23.6%となっています。

図表 8-2 歯や口の中で気になること

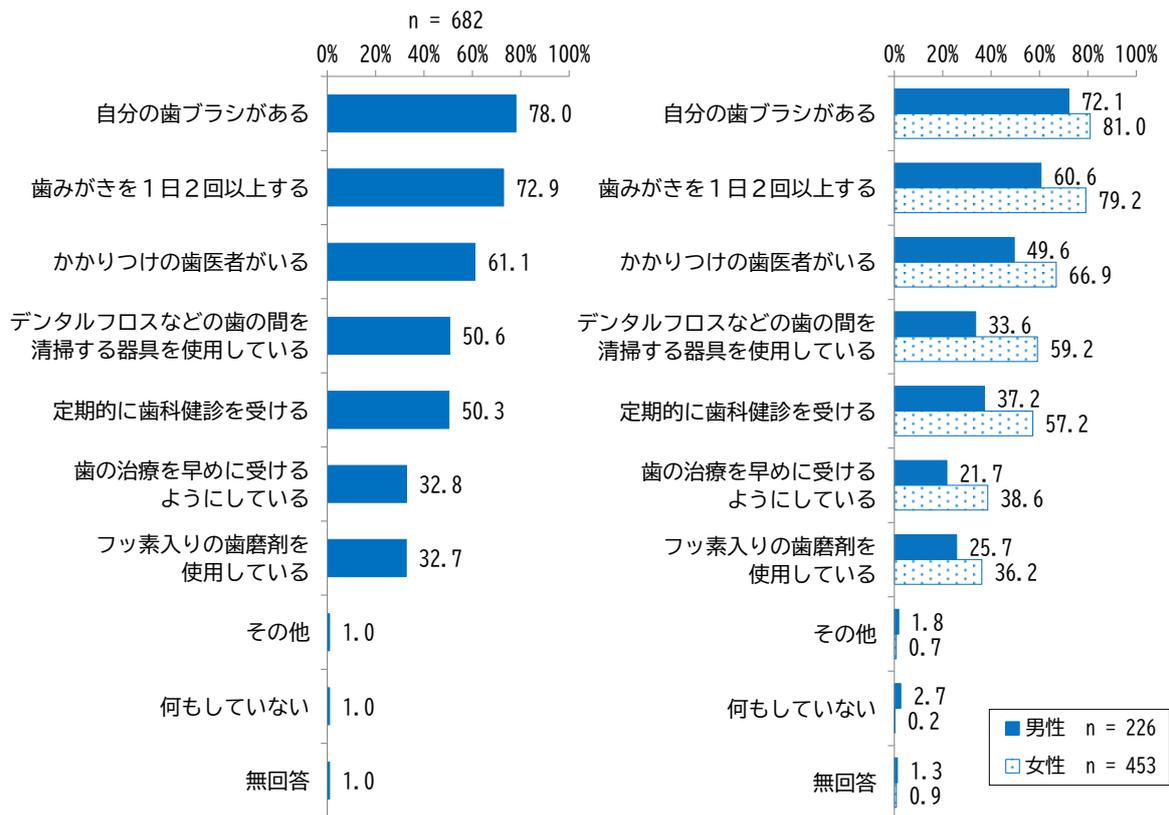


### 8-3 歯の健康管理 .....

問 43 歯の健康管理として、どのようなことをしていますか。(〇はいくつでも)

- 「自分の歯ブラシがある」が 78.0%で最も高く、次いで「歯みがきを1日2回以上する」が 72.9%、「かかりつけの歯医者がある」が 61.1%、「デンタルフロスなどの歯の間を清掃する器具を使用している」が 50.6%、「定期的に歯科健診を受ける」が 50.3%となっています。
- 性別でみると、「その他」「何もしていない」を除くすべての項目で女性の方が高く、特に「デンタルフロスなどの歯の間を清掃する器具を使用している」「定期的に歯科健診を受ける」「歯みがきを1日2回以上する」「かかりつけの歯医者がある」「歯の治療を早めに受けるようにしている」で高くなっています。

図表 8-3 歯の健康管理

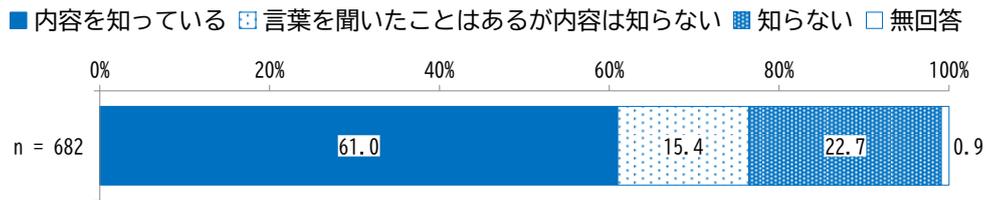


8-4 「8020 運動」の認知度

問 44 「8020（ハチマルニイマル）運動」（80 歳になっても 20 本以上自分の歯を残そうという運動）について知っていますか。（○は 1 つ）

➤ 「内容を知っている」が 61.0%、「言葉を聞いたことはあるが内容は知らない」が 15.4%、「知らない」が 22.7%となっています。

図表 8-4 「8020 運動」の認知度

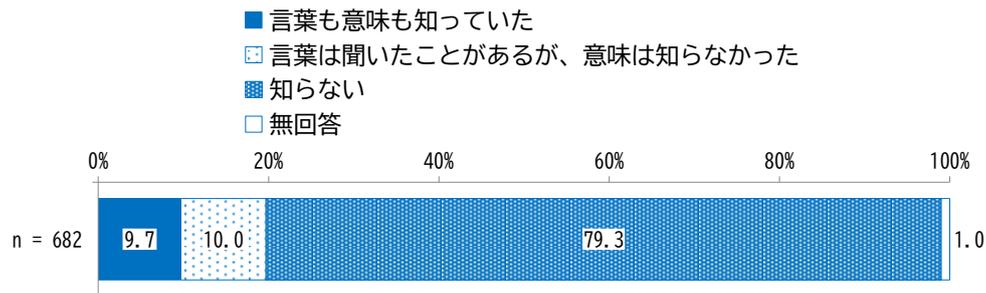


8-5 「オーラルフレイル」の認知度

問 45 「オーラルフレイル」について知っていましたか。（○は 1 つ）

➤ 「言葉も意味も知っていた」が 9.7%、「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らなかった」が 10.0%、「知らない」が 79.3%となっています。

図表 8-5 「オーラルフレイル」の認知度



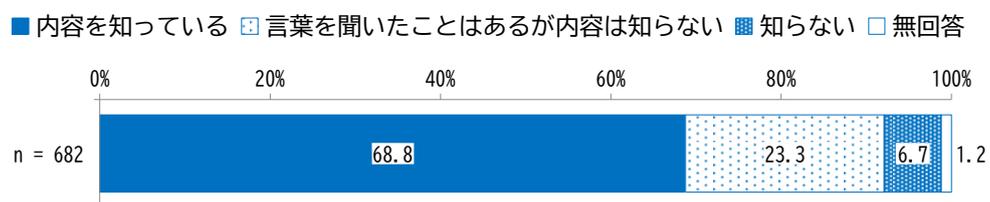
## 9 生活習慣病の予防について

### 9-1 「生活習慣病」の認知度 .....

問 46 「生活習慣病」（がん、心臓病、脳卒中、糖尿病、歯周病など日頃の生活習慣が発症に深く関与する病気）について知っていますか。（○は1つ）

- 「内容を知っている」が 68.8%、「言葉を聞いたことはあるが内容は知らない」が 23.3%、「知らない」が 6.7%となっています。

図表 9-1 生活習慣病の認知度

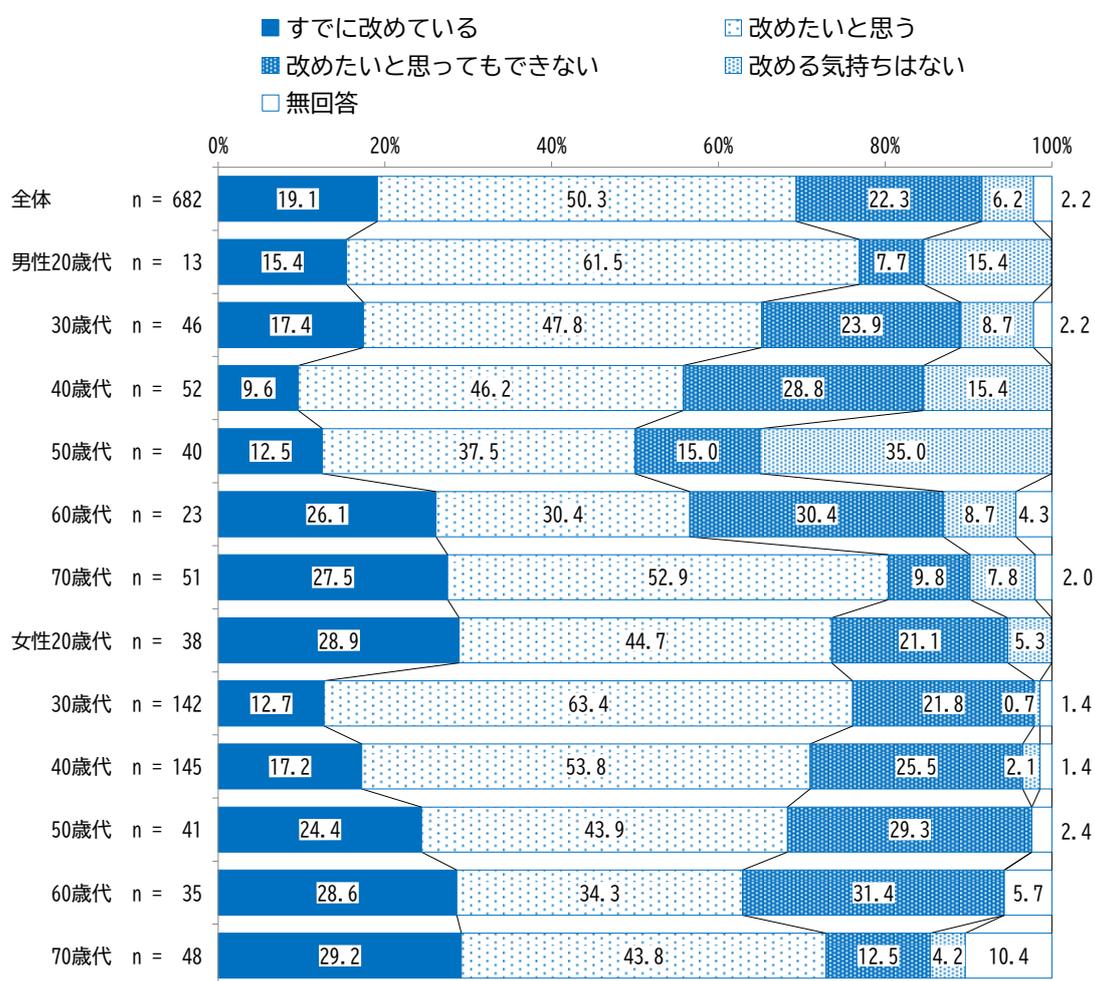


## 9-2 健康的な生活習慣への改善意向 ……………

問 47 生活習慣病予防のために、健康的な生活習慣に改めたいと思いますか。(○は1つ)

- 『改善意向がある』(「すでに改めている」「改めたいと思う」の計)が 69.4%、「改めたいと思ってもできない」が 22.3%、「改める気持ちはない」が 6.2%となっています。
- 性・年代別でみると、「改める気持ちはない」は男性 50 歳代で 35.0%、男性 40 歳代で 15.4%と高くなっています。

図表 9-2 健康的な生活習慣への改善意向

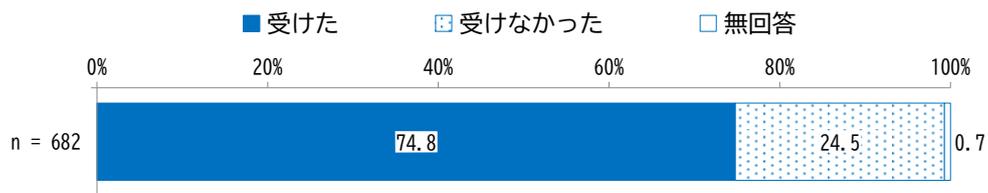


### 9-3 健診や人間ドックの受診状況 ……………

問 48 過去1年間に、健診（健康診断や健康診査）や人間ドックを受けましたか。（○は1つ）

- 健診や人間ドックの受診状況は、「受けた」が 74.8%、「受けなかった」が 24.5%となっています。

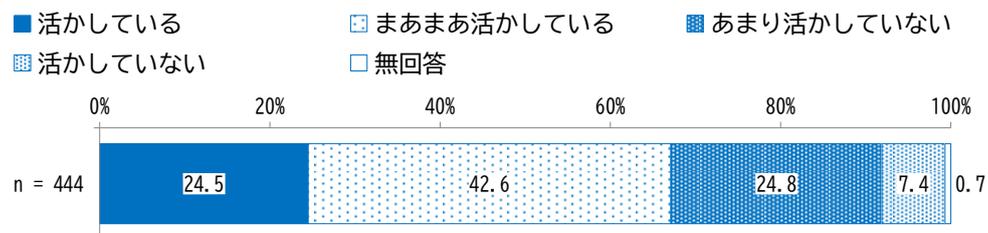
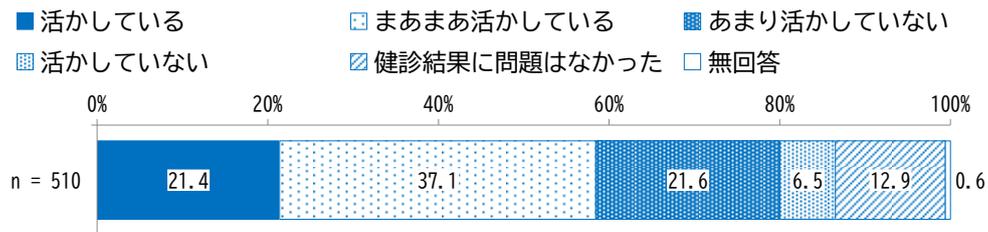
図表 9-3-1 健診や人間ドックの受診状況



(問 48 で「受けた」と答えた方に)  
問 48-1 健診結果に関心を持ち、その後の健康づくりに活かしていますか。（○は1つ）

- 健診結果の活用は、「まあまあ活かしている」が 37.1%で最も高くなっています。
- 「健診結果に問題はなかった」を母数から除いて計算すると、「活かしている」が 24.5%となっています。

図表 9-3-2 健診結果の活用

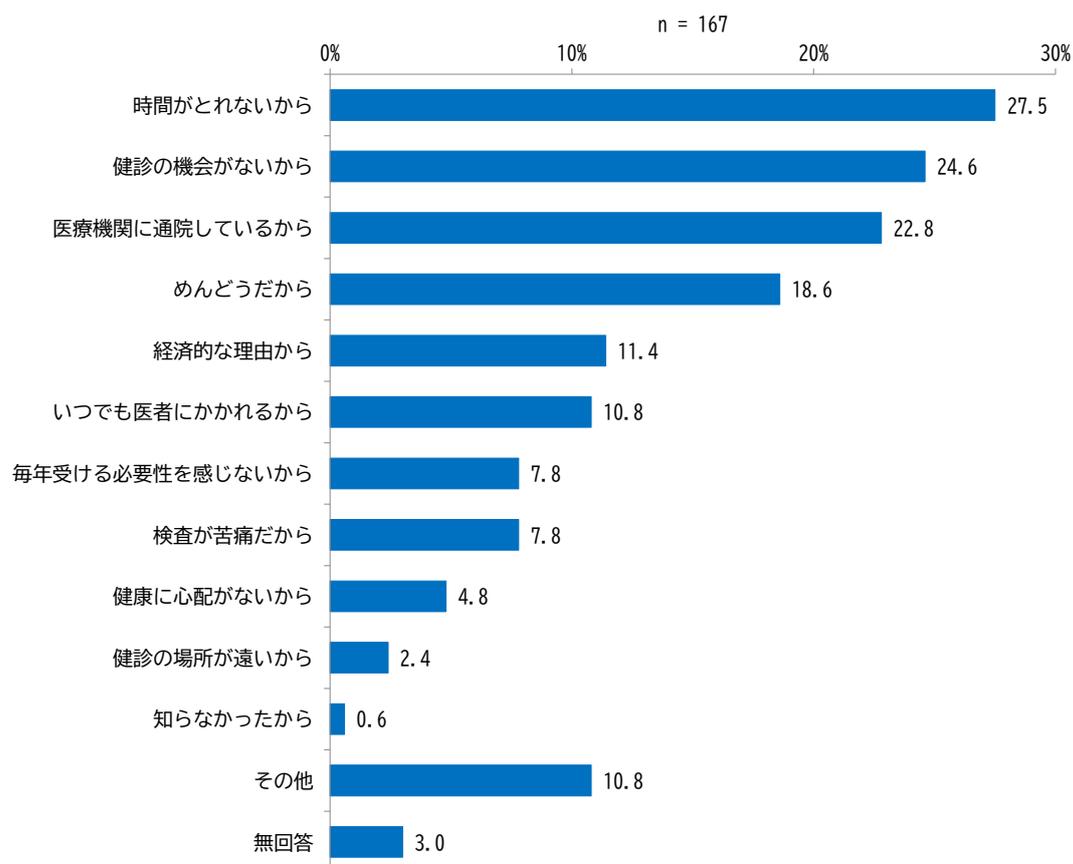


※「健診結果に問題はなかった」を母数から除いて計算

(問 48 で「受けなかった」と答えた方に)  
問 48-2 受けなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- 健診等を受けなかった理由は、「時間がとれないから」が 27.5%で最も高く、次いで「健診の機会がないから」が 24.6%、「医療機関に通院しているから」が 22.8%、「めんどうだから」が 18.6%となっています。

図表 9-3-3 健診等を受けなかった理由

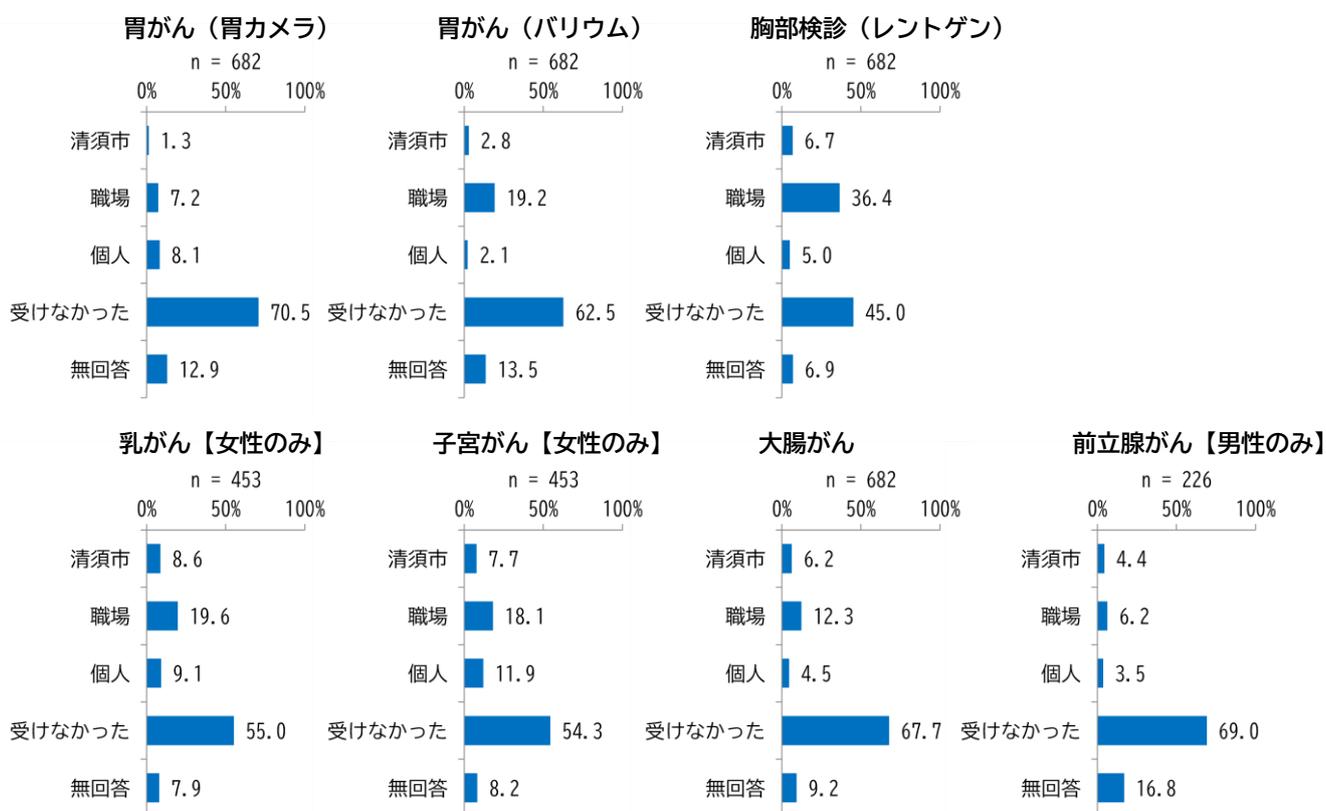


## 9-4 がん検診の受診状況

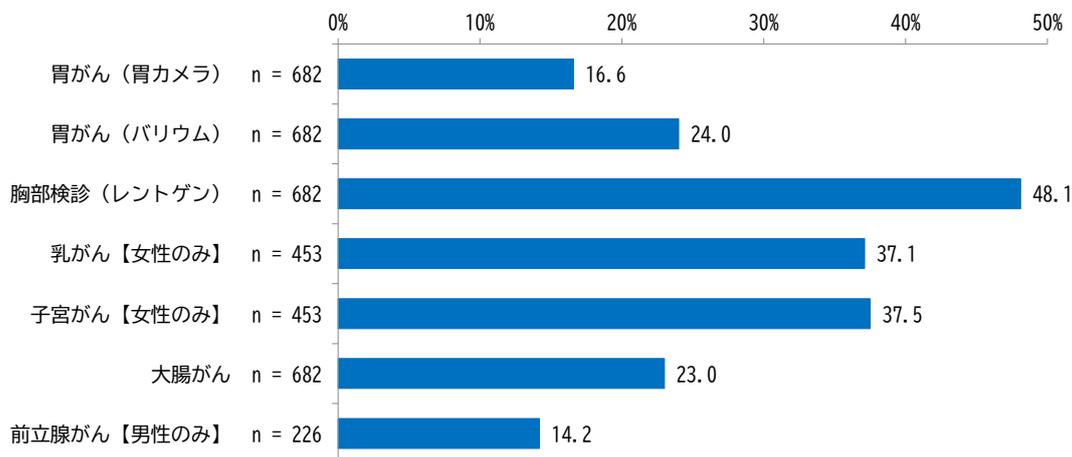
問 49 過去1年間に、がん検診を受けましたか。

- がん検診の受診状況は、いずれのがん検診においても「受けなかった」が最も高く、受け  
た場所では「職場」が最も高くなっています。
- 受診率(全体から「受けなかった」と無回答を除いた割合)をがんの種類別でみると、「胸  
部検診(レントゲン)」が 48.1%で最も高く、次いで「子宮がん【女性のみ】」が 37.5%、  
「乳がん【女性のみ】」が 37.1%となっています。

図表 9-4-1 がん検診の受診状況



図表 9-4-2 がん検診の受診率



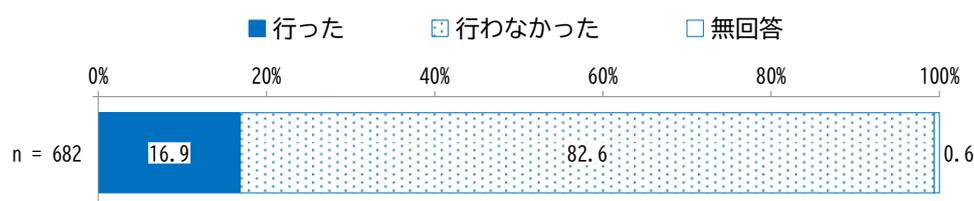
## 10 社会参加・社会環境について

### 10-1 ボランティア活動への参加状況

問 50 あなたは、過去1年間に何らかのボランティア活動を行いましたか。(〇は1つ)

➤ 「行った」が16.9%、「行かなかった」が82.6%となっています。

図表 10-1 ボランティア活動への参加状況

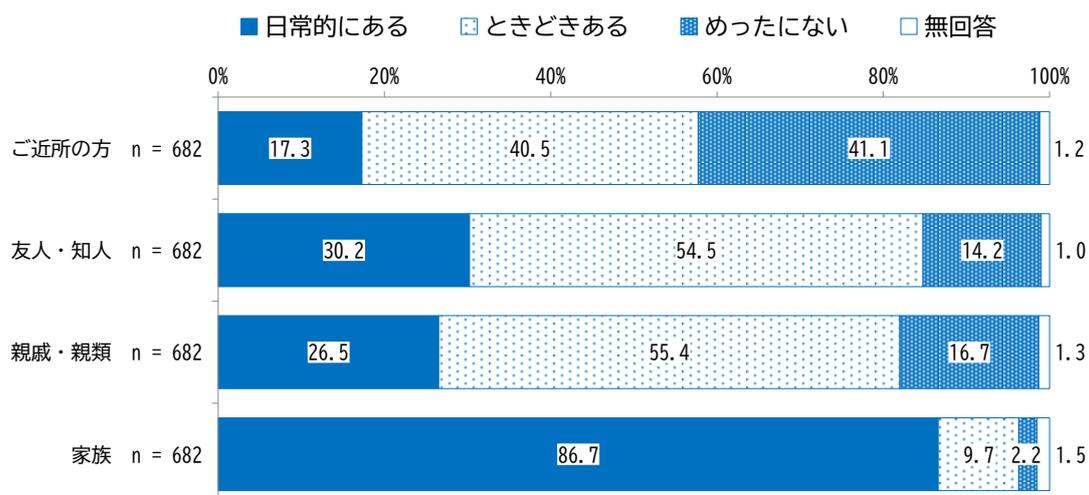


### 10-2 人との交流の程度

問 51 あなたは、次のアからエの人とどの程度の交流がありますか。(〇は1つずつ)

➤ 「日常的にある」は、ご近所の方で17.3%、友人・知人で30.2%、親戚・親類で26.5%、家族で86.7%となっています。

図表 10-2 人との交流の程度

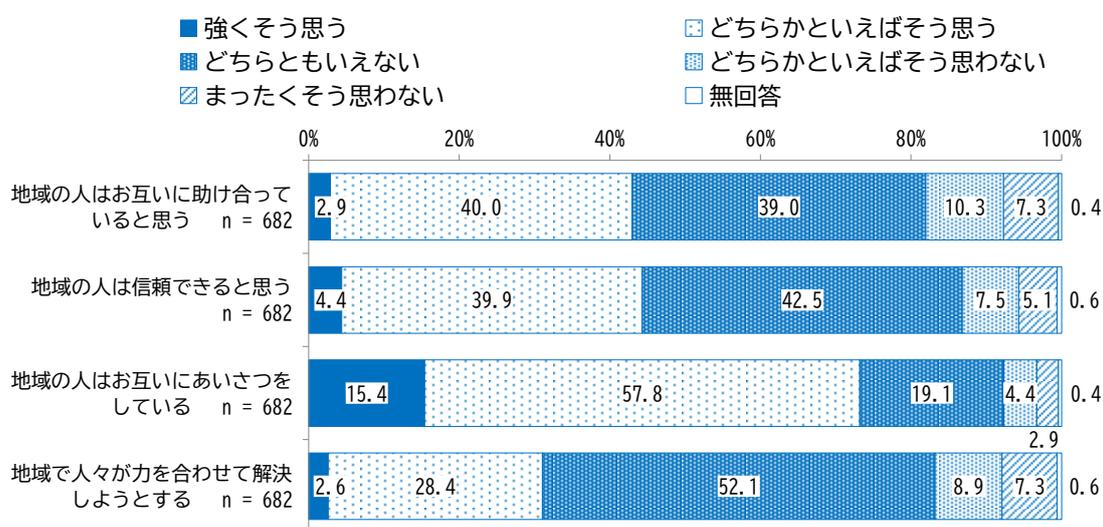


### 10-3 住んでいる地域について .....

問 52 あなたのお住まいの地域について、次のアからエについてどのように思いますか。(〇は1つずつ)

▶『そう思う』(「強くそう思う」「どちらかといえばそう思う」の計)は、「地域の人はお互いに助け合っていると思う」で 42.9%、「地域の人は信頼できると思う」で 44.3%、「地域の人はお互いにあいさつをしている」で 73.2%、「地域で人々が力を合わせて解決しようとする」で 31.0%となっています。

図表 10-3 住んでいる地域について



## 11 自殺に関する意識や自殺対策への思いについて

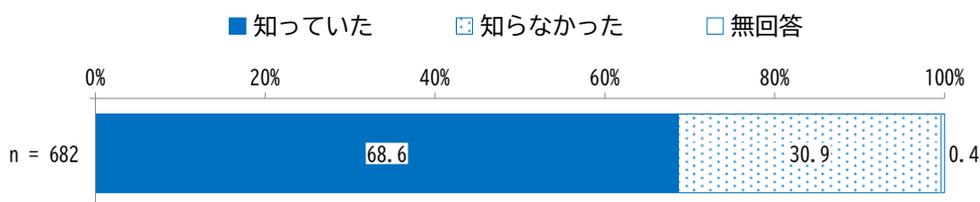
### 11-1 年間自殺者数の認知度

わが国の自殺者数は平成10年以降急増し、いまだ年間2万人を超える状態が続いており、その数が交通事故死者数と比べて約5～6倍となっています。ここ数年減少していますが、いまだに多くの方が自ら命を絶っている状況です。

問 53 あなたは、毎年このように多くの方が自殺で亡くなっていることを知っていましたか。(○は1つ)

➤ 「知っていた」が68.6%、「知らなかった」が30.9%となっています。

図表 11-1 年間自殺者数の認知度

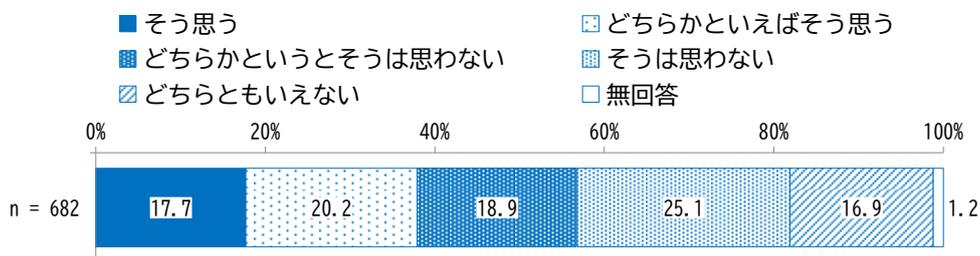


### 11-2 自殺対策は自分自身にかかわる問題だと思うか

問 54 自殺対策は、自分自身にかかわる問題だと思いますか。(○は1つ)

➤ 『そう思う』(「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の計)が37.9%、『そう思わない』(「そうは思わない」「どちらかというそうは思わない」の計)が44.0%となっています。

図表 11-2 自殺対策は自分自身にかかわる問題だと思うか

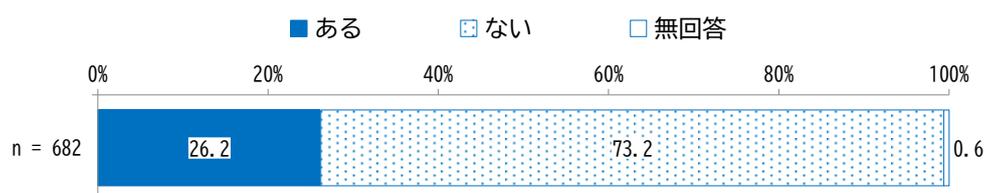


### 11-3 自殺を考えた経験について .....

問 55 あなたは、これまでの人生の中で自殺したい、またはそれに近いことを考えたことがありますか。(○は1つ)

➤ 自殺を考えた経験について、「ある」は26.2%となっています。

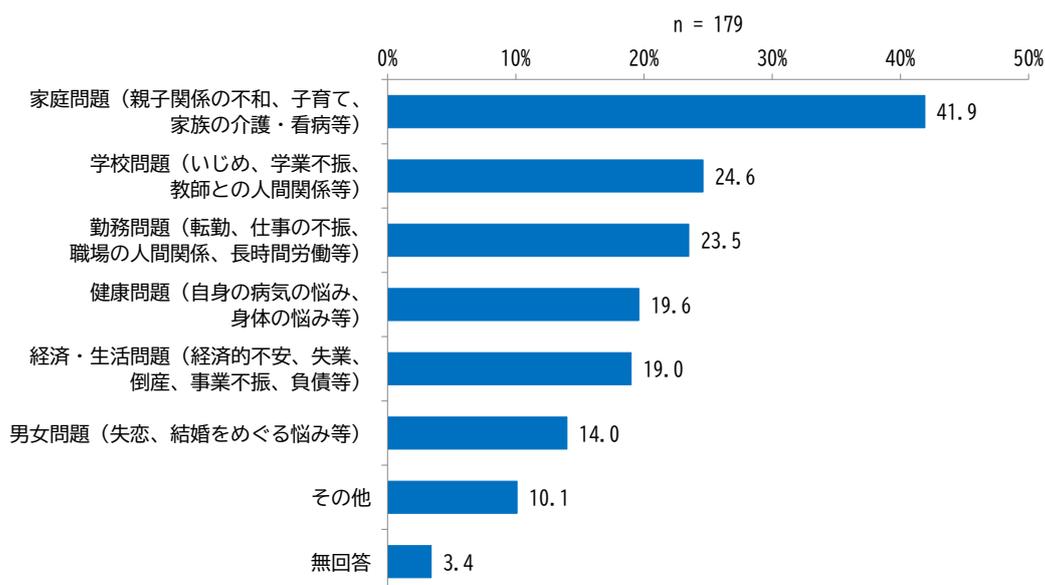
図表 11-3-1 自殺を考えた経験の有無



(問 55 で「ある」と答えた方に)  
問 55-1 自殺したいと思った理由は何ですか。(○はいくつでも)

➤ 自殺を考えた理由は、「家庭問題(親子関係の不和、子育て、家族の介護・看病等)」が41.9%で最も高く、次いで「学校問題(いじめ、学業不振、教師との人間関係等)」が24.6%、「勤務問題(転勤、仕事の不振、職場の人間関係、長時間労働等)」が23.5%となっています。

図表 11-3-2 自殺を考えた理由

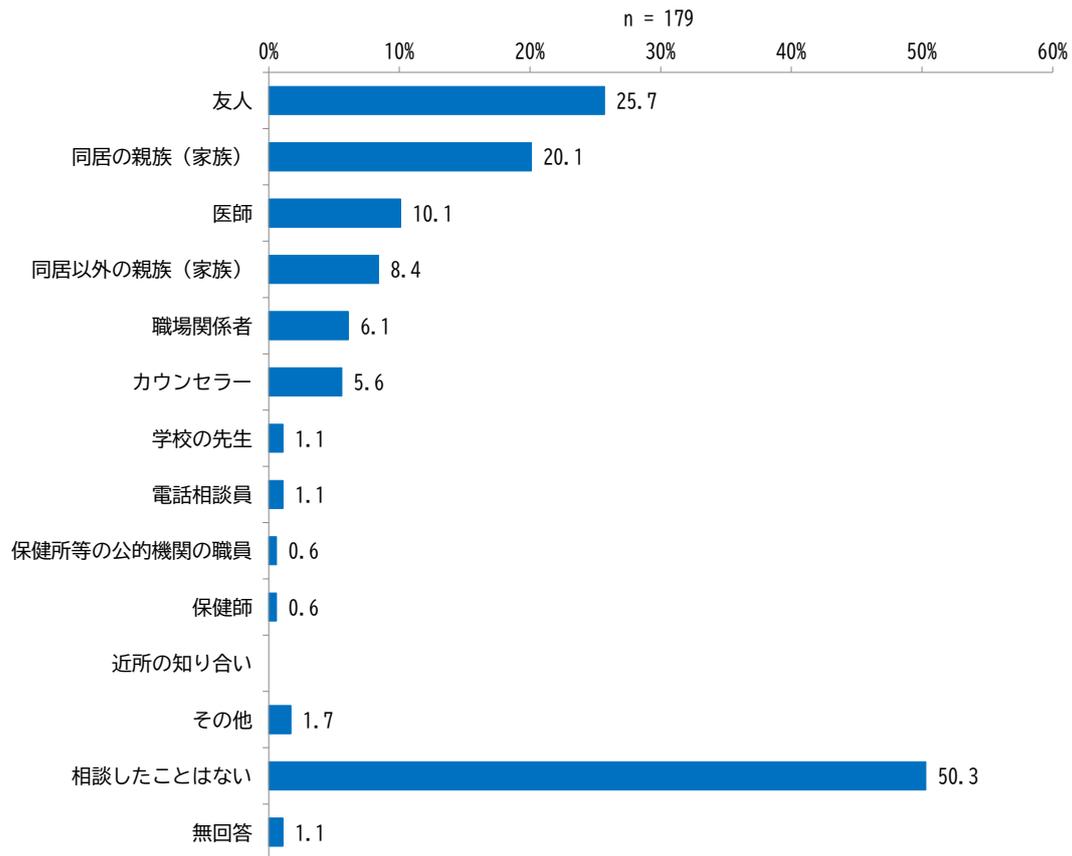


(問 55 で「ある」と答えた方に)

問 55-2 そのように考えたとき、誰に相談しましたか。(○はいくつでも)

➤ 自殺を考えたときの相談先は、「相談したことはない」が 50.3%で最も高く、次いで「友人」が 25.7%、「同居の親族(家族)」が 20.1%となっています。

図表 11-3-3 自殺を考えたときの相談先

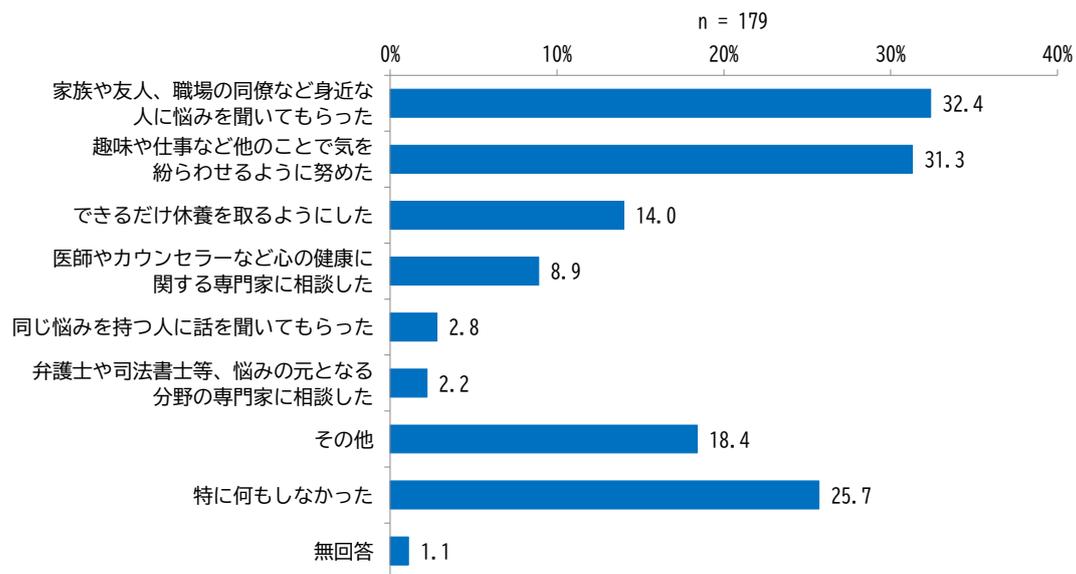


(問 55 で「ある」と答えた方に)

問 55-3 そのように考えたとき、思いとどまった(思いとどまっている)要因は何ですか。(〇はいくつでも)

- 自殺を思いとどまった要因は、「家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった」が 32.4%で最も高く、次いで「趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた」が 31.3%、「特に何もしなかった」が 25.7%となっています。

図表 11-3-4 自殺を思いとどまった要因

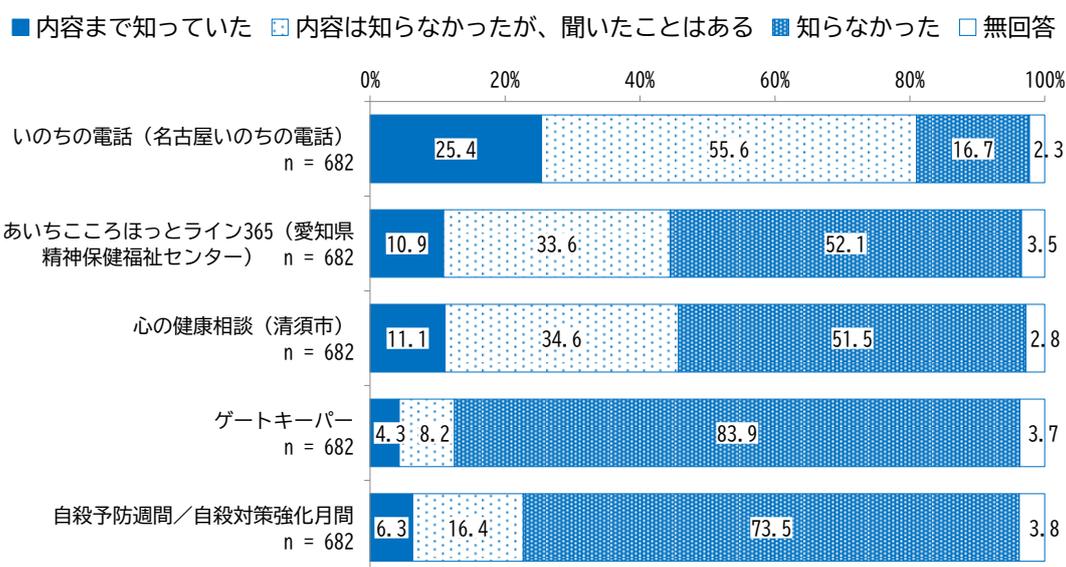


## 11-4 自殺対策に関する事柄の認知度 .....

問 56 あなたは、自殺対策に関する以下の事柄について知っていましたか。(○はそれぞれ1つずつ)

➤ 「内容まで知っていた」は、「いのちの電話」で 25.4%、「あいちこころホットライン 365」で 10.9%、「心の健康相談(清須市)」で 11.1%、「ゲートキーパー」で 4.3%、「自殺予防週間／自殺対策強化月間」で 6.3%となっています。

図表 11-4 自殺対策に関する事柄の認知度

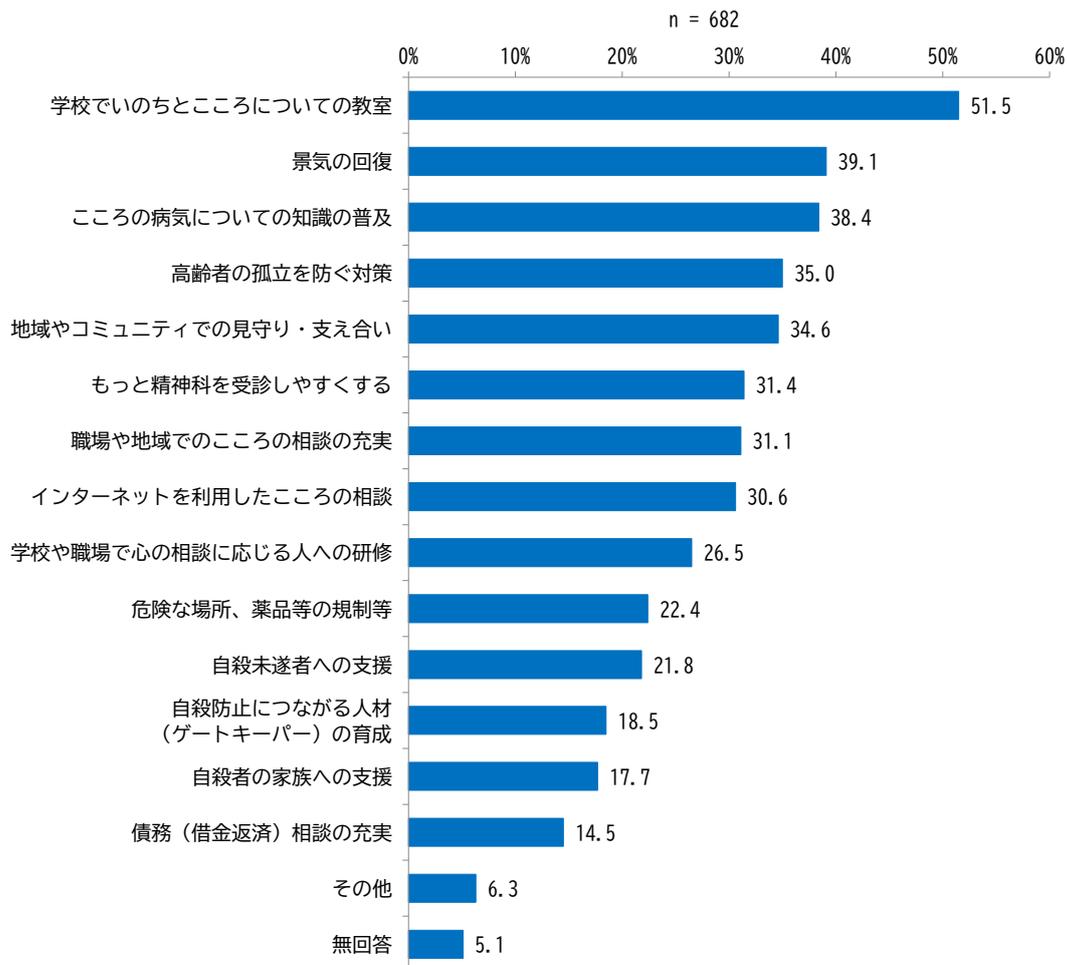


11-5 今後重要だと思う自殺対策 .....

問 57 今後どのような自殺対策が重要だと考えますか。(〇はいくつでも)

➤ 「学校でのいのちところについての教室」が 51.5%で最も高く、次いで「景気の回復」が 39.1%、「こころの病気についての知識の普及」が 38.4%となっています。

図表 11-5 今後重要だと思う自殺対策



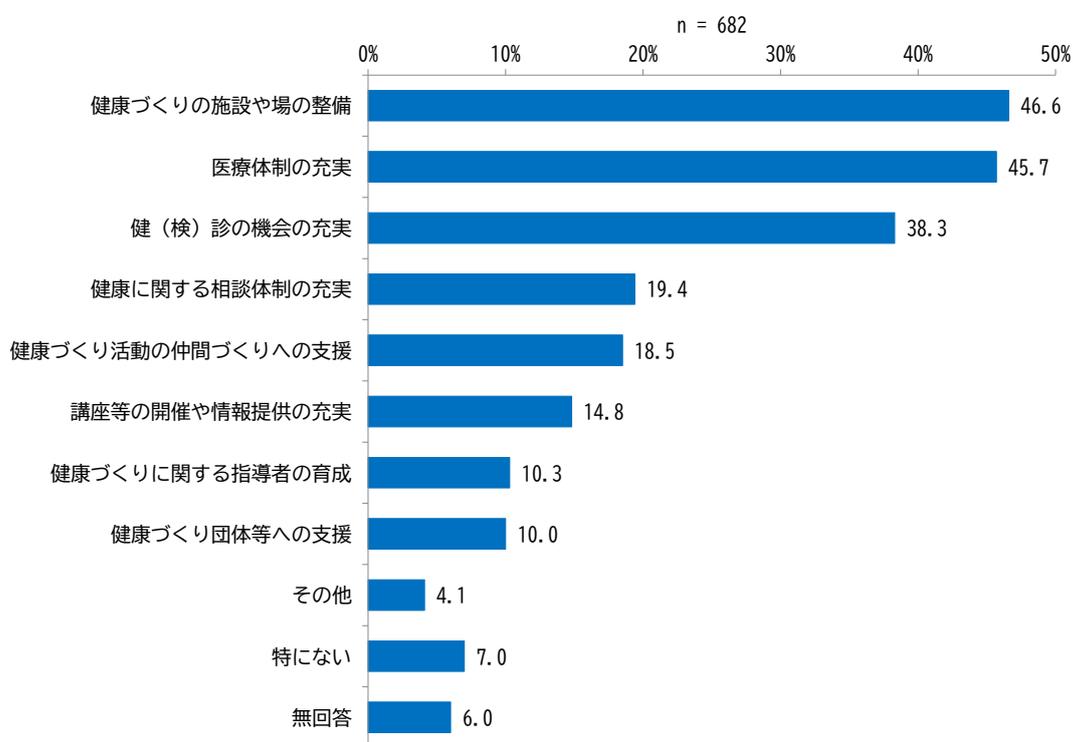
## 12 行政の取り組み等について

### 12-1 健康に暮らすまちづくりのために行政が注力すべき取り組み ……………

問 58 市民の皆様が心身ともに健康に暮らすまちをつくるために、行政はどのような取り組みに力を入れていくべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

▶ 「健康づくりの施設や場の整備」が 46.6%で最も高く、次いで「医療体制の充実」が 45.7%、「健(検)診の機会の充実」が 38.3%となっています。

図表 12-1 健康に暮らすまちづくりのために行政が注力すべき取り組み



12-2 自由意見 .....

問 59 健康に関するご意見・ご要望をご自由にお書きください。

➤ 健康に関する意見・要望については、143 件の回答がありました。内容別の件数は、下表のとおりです。

図表 12-2 健康に関する意見・要望

内 容	件 数
保健、健(検)診に関すること 健(検)診について(15)、健康管理について(11)	26
運動・身体活動に関すること 運動施設について(14)、講座・イベントについて(3)、その他(7)	24
医療に関すること 市民病院・総合病院の開設について(11)、その他(9)	20
税金、助成制度に関すること	13
現在の状況、将来の不安・希望など	10
コミュニティ、近所付き合いに関すること	7
情報提供・相談に関すること	6
出産・子育て支援に関すること	5
生活環境に関すること	3
行政に対する励まし・感謝など	5
行政に対する意見・要望など	4
アンケートに関すること	8
その他	12
合 計	143

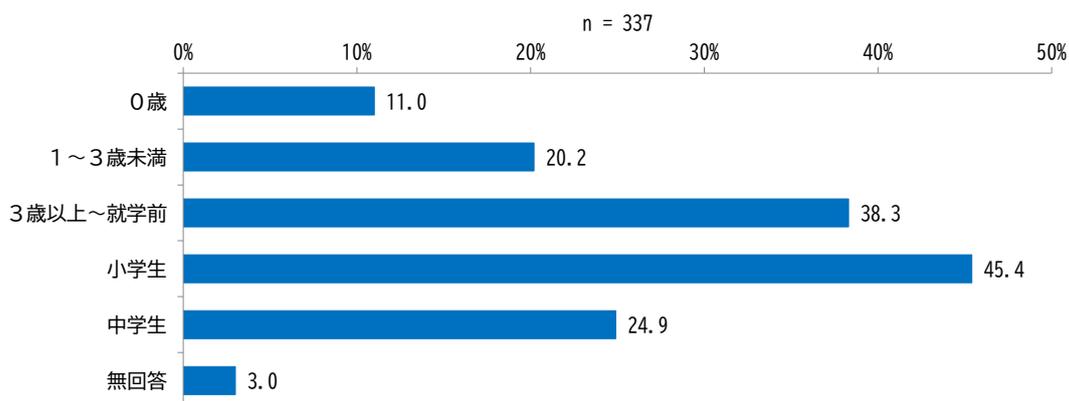
## 13 中学生以下の子どもがいる保護者への質問

### 13-1 子どもの年齢

問 60 お子さんの年齢はおいくつですか。(令和6年6月1日現在)(○はいくつでも)

➤ 「小学生」が 45.4%で最も高く、次いで「3歳以上～就学前」が 38.3%、「中学生」が 24.9%となっています。

図表 13-1 子どもの年齢

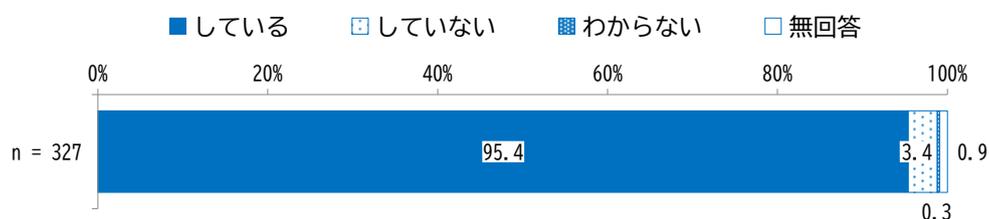


### 13-2 子どもは大人と一緒に食事をしているか

問 61 お子さんは、1日最低1回は家族のうち大人の人と一緒に食事をしていますか。(○は1つ)

➤ 「している」が 95.4%、「していない」が 3.4%となっています。

図表 13-2 子どもは大人と一緒に食事をしているか

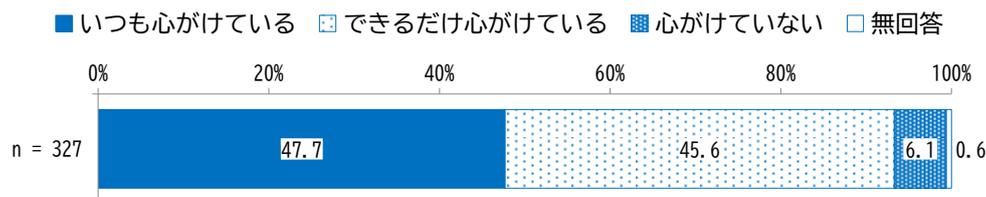


### 13-3 子どもの規則正しい生活習慣の心がけ ……………

問 62 お子さんは、早寝・早起きなど規則正しい生活習慣を心がけていますか。(○は1つ)

➤ 「いつも心がけている」が 47.7%、「できるだけ心がけている」が 45.6%となっています。

図表 13-3 子どもの規則正しい生活習慣の心がけ

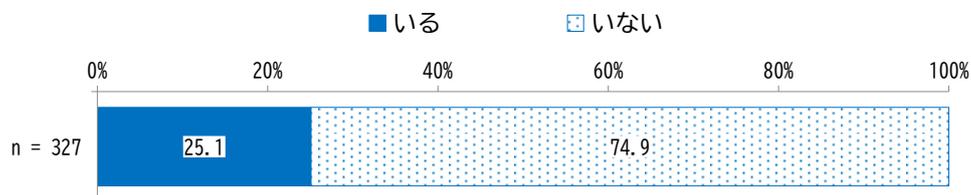


### 13-4 子どもの受動喫煙への配慮 ……………

問 63 家族にたばこを吸う人はいますか。(○は1つ)

➤ 家族内喫煙者について、「いる」は 25.1%となっています。

図表 13-4-1 家族内喫煙者の有無



(問 63 で「いる」と答えた方に)

問 63-1 お子さんのいるところでたばこを吸わないよう(子どもが煙を吸わないよう)に配慮していますか。(○は1つ)

➤ 子どもの受動喫煙について、「配慮している」は 90.2%、「特に気にしていない」は 9.8%となっています。

図表 13-4-2 子どもの受動喫煙への配慮

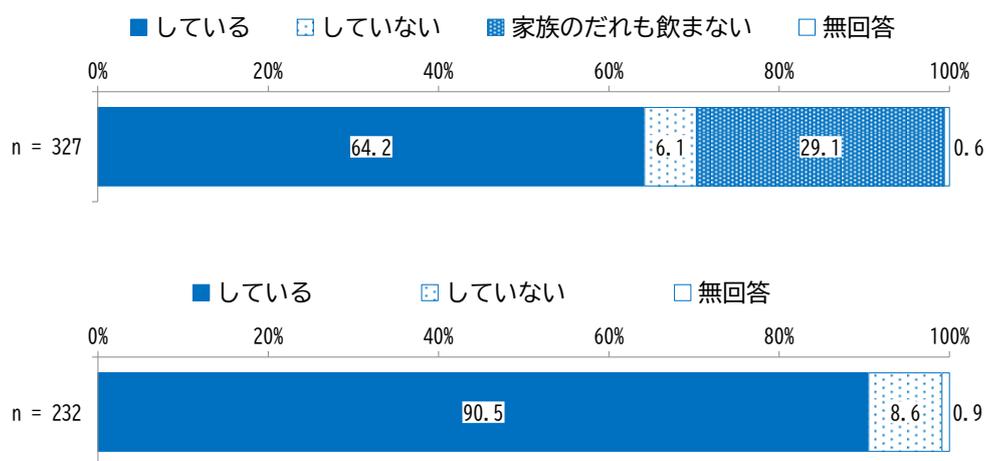


### 13-5 子どもの飲酒防止への配慮 .....

問 64 家族がお酒を飲むときに、お子さんにはお酒をすすめないようにしていますか。  
(○は1つ)

- 「している」が64.2%、「家族のだれも飲まない」が29.1%となっています。
- 「家族のだれも飲まない」を母数から除いて計算すると、「している」が90.5%となっています。

図表 13-5 子どもの飲酒防止への配慮



※「家族のだれも飲まない」を母数から除いて計算

13-6 自由意見 .....

問 65 お子さんの健康に関するご意見・ご要望をご自由にお書きください。

➤ 子どもの健康に関する意見・要望については、64 件の回答がありました。内容別の件数は、下表のとおりです。

図表 13-6 子どもの健康に関する意見・要望

内 容	件 数
学校・教育に関すること 登下校について(4)、部活動について(4)、教育施設の整備について(3)、 給食について(3)、その他(8)	22
運動・身体活動に関すること 子どもの遊び場について(13)、その他(2)	15
保健、健(検)診に関すること 子どもの健診について(6)、子どもの健康管理について(4)	10
医療に関すること	7
出産・子育て支援に関すること	7
現在の状況、将来の不安・希望など	3
合 計	64